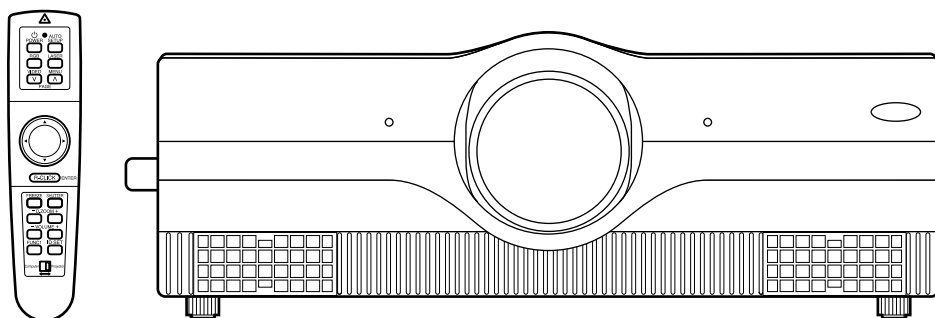


液晶プロジェクター 業務用

## 取扱説明書

品番 TH-L6510  
TH-L6600J



このたびは、パナソニック 液晶プロジェクターをお買い上げいただき、  
まことにありがとうございました。

- この説明書はTH-L6510、TH-L6600J 共用の取扱説明書にしています。
- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店から  
お受け取りください。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。  
お買い上げの際は製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

上手に使って上手に節電

# もくじ

---

安全上のご注意	4	システムアップ例	9
付属品の確認	7	各部の名前と働き	10
取り扱い上の留意点	8	リモコン	10
運搬上の留意点	8	本体天面・前面・側面	11
設置に関する留意点	8	本体天面・後面・側面 / 後面操作部	12
使用上の留意点	8	側面接続端子部	13
廃棄について	8		
お掃除とお手入れ	8		

---

投写する	23	オンスクリーンメニューについて	27
電源を入れる	23	メニュー画面一覧	27
調整・選択をする	23	メニュー画面の基本操作	28
電源の切りかた	23	前の画面に戻すには	28
本体を水平に設置する	24	メニュー画面項目の白文字表示について	28
投写画面位置の高さ調整	24	メニュー画面の表示について	28
排気ガイド取り付けのお勧め	25	調整値を工場出荷状態に戻す	28
フリーズ(FREEZE)機能を使う	25	インデックスダブル機能を使う	29
シャッター(SHUTTER)機能を使う	25	(TH-L6510のみ)	
デジタルズーム(D.ZOOM + / -)機能を使う	26		

---

オプション 1 の設定	34	オプション 2 の設定	35
OSD 表示	34	ランプパワー	35
RGB フォーマット	34	ランプ選択	35
レンズシフト	34	ランプ時間	35
バックカラー	34	FUNC1 の設定	35
投写方式 1	34	セットの ID 設定	36
投写方式 2	34	ユーザーモードに登録・削除・表示する	36

---

ランプモニターの表示について	40	修理を依頼される前に	45
エアフィルターの手入れと交換	41	仕様	46
清掃手順	41	付録	48
ランプユニットの交換	42	保証とアフターサービス	49
ランプユニットの交換時期	42	外形寸法図	50
ランプユニットの交換手順	43		

---

<b>リモコンの使いかた</b>	<b>14</b>	<b>設置する</b>	<b>18</b>	準備
乾電池の入れかた	14	投写方式	18	
リモコンの有効操作範囲	14	投写関係	18	
レーザーポインターの機能を使う	15	投写距離	18	
リモコンのIDを設定する	15	<b>接続する</b>	<b>19</b>	
リモコンをパソコンのマウス代わりに使う	16	接続する前に	19	
ワイヤードリモコンで使う	17	AV 機器との接続例	20	
		パソコンとの接続例	21	
		シグナルセレクターなどの接続例	22	

<b>映像の調整</b>	<b>30</b>	<b>ポジションの調整</b>	<b>32</b>	使いかた
映像モード	30	水平位置	32	
色の濃さ	30	垂直位置	32	
色合い	30	ビデオサイズ	32	
黒レベル	30	ドットクロック	32	
ピクチャー	30	クロックフェーズ	32	
シャープネス	30	台形補正	32	
TV システム	31	垂直補正	32	
白バランス R/G/B	31	アスペクト	33	
表示モード	31	初期化	33	
初期化	31	<b>ズーム / フォーカスの調整</b>	<b>33</b>	
		ズーム	33	
		フォーカス	33	
		<b>表示言語の切り換え</b>	<b>33</b>	

<b>シリアル端子を使う</b>	<b>37</b>	<b>リモート端子を使う</b>	<b>39</b>	応用
接続例	37			
ピン配列と信号名	37			
通信条件	37			
基本フォーマット	37			
制御コマンド	38			
ケーブル仕様	38			
USB での制御について	38			

その他

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は絵表示の一例です)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。



## 警告

■故障（画像が映らない、音が出ないなど）や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

- 煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですからおやめください。

■荷重に耐えられない場所に設置しない



禁止

設置場所の強度が弱いと、落下などで大きな事故やけがの原因となります。

■内部に異物や水などが入ったり、落したり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く



火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

- 修理は販売店にご依頼ください。

■天井取り付け（天つり）などの設置工事は専門の技術者に依頼する



工事の不備があると事故の原因となります。



## 警告

### ■ カバーを外したり、改造したりしない



内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

分解禁止

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

### ■ 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しない



付属の3端子付コードを使い、コンセント側でアースを取らないと、感電の原因となります。

禁止

### ■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

### ■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

### ■ 電池の+・-部に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない



液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。

禁止

- ビニール袋などに入れ、金属と接触させないようにしてください。

### ■ エアフィルター部や吸排気孔をふさがない



内部に熱がこもり、火災の原因となります。

禁止

### ■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

禁止

### ■ 電源プラグのほこりは定期的に掃除をする



電源プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良になり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

### ■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない



傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。

禁止

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

### ■ リモコンを子供に使用させたり、レーザー光をのぞきこんだり、人に向けない



リモコン発信機より発射されるレーザー光を、直接目に当てますと、視力低下などの原因になることがあります。

禁止

# 安全上のご注意

必ずお守りください



## 警告

### ■ 不安定な場所に置かない



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

### ■ 上に水などが入った容器を置かない



禁止

水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 水が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。

### ■ 水をかけたり、ぬらしたりしない



水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

### ■ 異物を入れない



禁止

内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



## 注意

### ■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない



禁止

火災・感電の原因となることがあります。

### ■ 上に重い物を置かない



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

### ■ 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグを持って抜く



コードをひっぱるとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となります。

### ■ 乾電池は以下のことを守り正しく取り扱う



- 電池の+、-を正しく入れる。
- 指定の乾電池を使用する。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わない。
- 乾電池は充電しない。
- 加熱・分解したり、水・火の中へ入れたりしない。
- 長期間使用しないときは、取り出しておく。

### ■ 移動させる場合は、必ず接続線をはずす



接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

### ■ レンズシフト動作中は、レンズ周辺の開口部に手を入れない



禁止

レンズシフト動作中にレンズ周辺の開口部に手を入れないでください。手をさみけがの原因になることがあります。

- 取り扱いを誤ると、乾電池の液漏れにより、火災や感電、周囲汚損の原因となります。
- 万一液漏れが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

## ⚠ 注意

### ■ ご使用中は投写レンズをのぞかない



禁止

投写レンズからは強い光が出ます。直接、中をのぞくと目を痛める原因となることがあります。

### ■ ランプユニットの交換は、サービス技術者に依頼する



光源ランプは内部気圧が高く堅い物に当たったり落下させると破裂し、けがや事故の原因となることがあります。

### ■ ランプユニットの交換は、ランプが十分に冷えてから行う



高温注意

触るとやけどの原因になります。

### ■ ランプが破裂したときには以下のことを守り正しく取り扱う



本機の内部やランプハウス内にはガラス片が散乱している可能性があります。

- 販売店にランプの交換と内部の点検を依頼ください。
- 通風口よりガスや粉塵が出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれています。万が一吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合は直ちに医師にご相談ください。

### ■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

### ■ 排気孔には手や物を近づけない



禁止

空気吹き出し口からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となることがあります。

### ■ 1年に1度は内部の清掃を販売店に依頼する

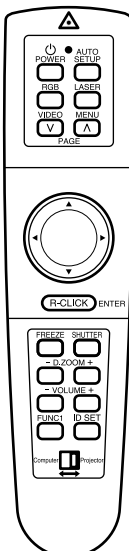
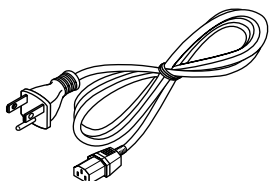
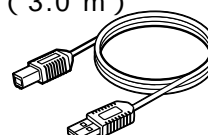
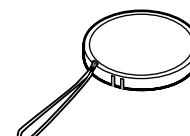
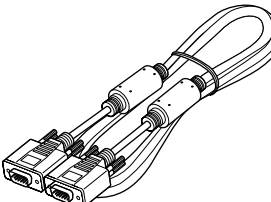
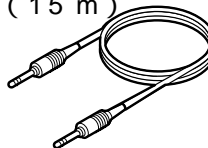
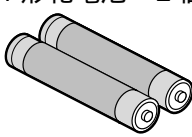
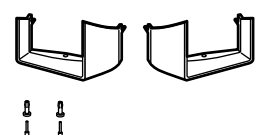
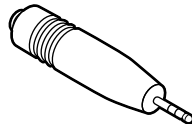


本機の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃しないと火災の原因となることがあります。

- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。販売店にご依頼ください。なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

## 付属品の確認

下図の付属品が入っていることをご確認ください。

<p>リモコン 1個</p> 	<p>電源コード 1本</p> 	<p>USBケーブル 1本 (3.0 m)</p> 	<p>レンズキャップ 1個</p> 
	<p>RGB信号ケーブル 1本 (3.0 m VGA用)</p> 	<p>リモコンケーブル 1本 (15 m)</p> 	<p>リモコン用 単4形乾電池 2個</p> 
		<p>排気ガイド 1セット</p> 	<p>変換プラグ 1個</p> 

# 取り扱い上の留意点

## ■ 運搬上の留意点

運搬時は必ずレンズキャップをかぶせてください。投写レンズは振動や衝撃に対して影響を受けやすい部品です。運搬時に振動や衝撃を与えないようご注意ください。

## ■ 設置に関する留意点

本機の設置については下記の事項を必ずお守りください。

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください  
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両・船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。  
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください  
高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。
- ビニールシートやじゅうたんの上には設置しないでください  
エアフィルター部にビニールシートなどがはり付き、本機内部温度が上昇するため保護回路が働き、電源が切れる場合があります。
- 本機を天井に取り付ける場合は必ず専門の技術者にご依頼ください  
天井から吊り下げて設置される場合は、別売の天吊り金具（高天井用 品番：TY-PKL6500）（低天井用 品番：TY-PKL6500S）をお買い求めのうえ、取り付け工事を専門の技術者にご依頼ください。
- 海拔 1400 m 以上でのご使用はできません。  
そのまま使用すると部品の寿命等に影響を及ぼす恐れがあります。

## ■ 廃棄について

本機を廃棄する場合は、販売店に依頼するか専門の業者に依頼してください。

## ■ 使用上の留意点

8 時間以上の連続使用をされる場合、別途設定が必要となりますので、サービスマンにご相談ください。

- 美しい映像をご覧いただくために  
スクリーン面に外光や照明などの光が入ると、ハイコントラストで美しい映像を見ることができません。  
窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの配慮をしてください。  
使用環境によっては排気孔からの熱せられた空気の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。

- 投写レンズ面は素手でさわらないでください  
投写レンズ面に指紋や汚れがつくと、拡大されてスクリーンに映りますのでレンズ面には手をふれないでください。また本機を使用されないときは、付属のレンズキャップを被せておいてください。
- スクリーンについて  
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- ランプについて  
本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプにはつぎのような特性があります。  
衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがあります。  
個体差や使用条件によって寿命に大きなバラツキがあります。  
ごくまれに使用後まもなく破裂することがあります。  
交換時期を越えると破裂の可能性が高くなります。
- 液晶パネルについて  
液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されており、投写画面の一部にドット欠けや、常時点灯が存在する場合がありますが、あらかじめご了承ください。
- 光学部品について  
毎日 6 時間以上連続使用される場合、1 年未満でも液晶パネル、偏光板などの光学部品の交換が必要になることがあります。  
詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

### お掃除とお手入れ

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットはやわらかい乾いた布で  
汚れがひどいときは水で薄めた台所用洗剤（中性）にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。

レンズ面は毛羽だつ布やほこりのついた布でふかないでください

レンズにゴミやほこりが付着しますとスクリーン面へ、ゴミやほこりが拡大されて映ります。  
やわらかいきれいな布でふいてください。



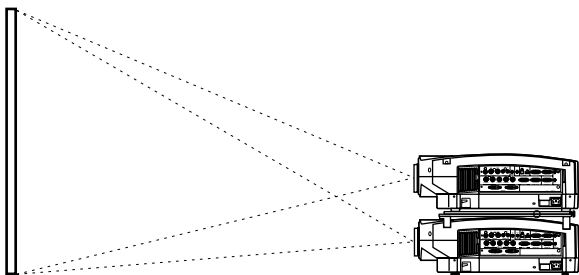
# システムアップ例

本機には、豊富な端子群とオプション（別売品）が準備されており、様々なシステムアップに対応しています。また、本体にはすべての端子（ビデオ、RGB 音声出力は除く）に入出力端子を備えています。下図にその一例を示しています。

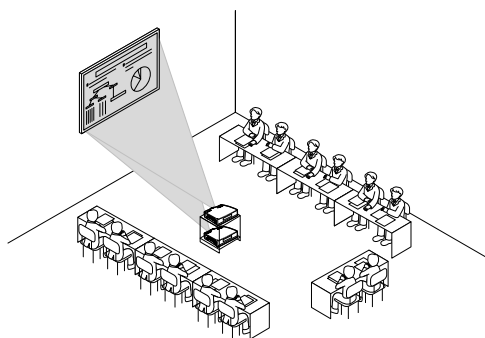
準備

## システム 1

デュアル金具と本機 2 台を使った明るさの向上

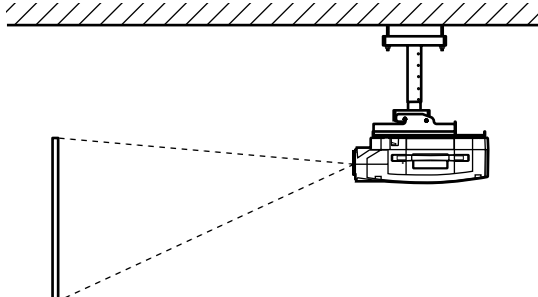


（簡易スタック金具を使ったイメージ図です）

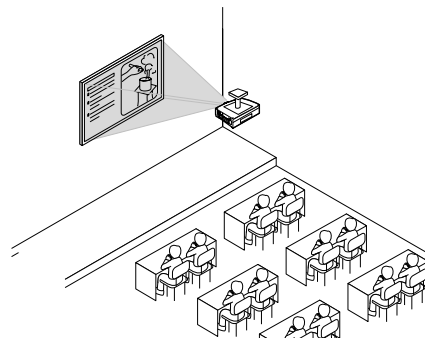


## システム 2

低天井または高天井吊り金具を使った設置スペースに合った設置

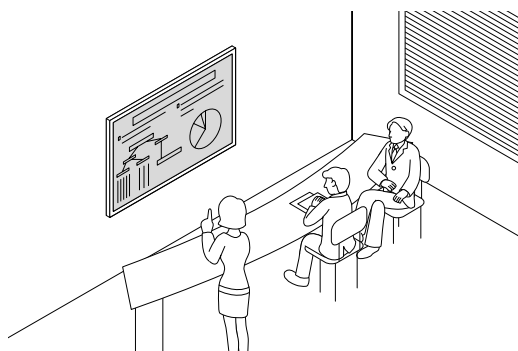
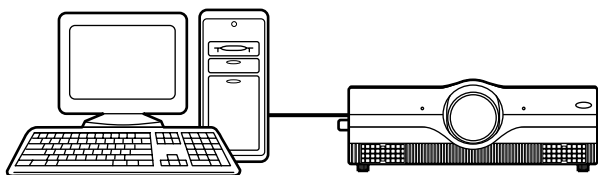


（高天井用吊り金具を使ったイメージ図です）



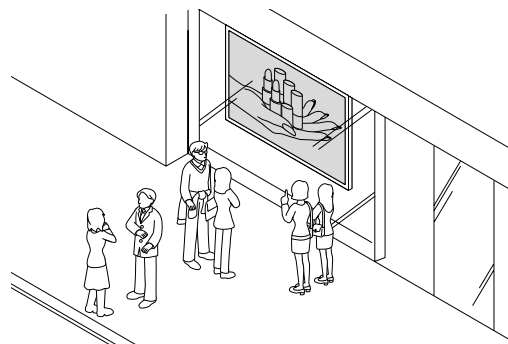
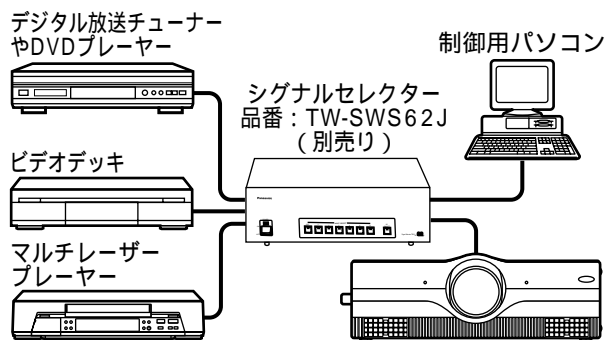
## システム 3

DVI-D 端子を使ったデジタル対応パソコンの接続（高鮮明画像の実現）

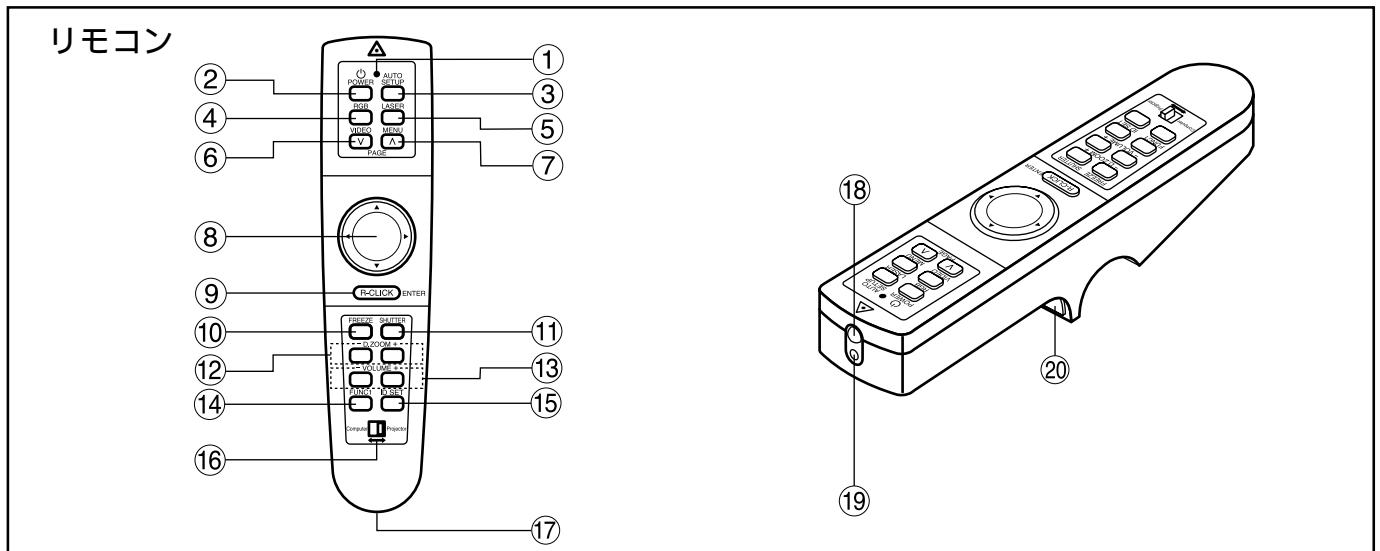


## システム 4

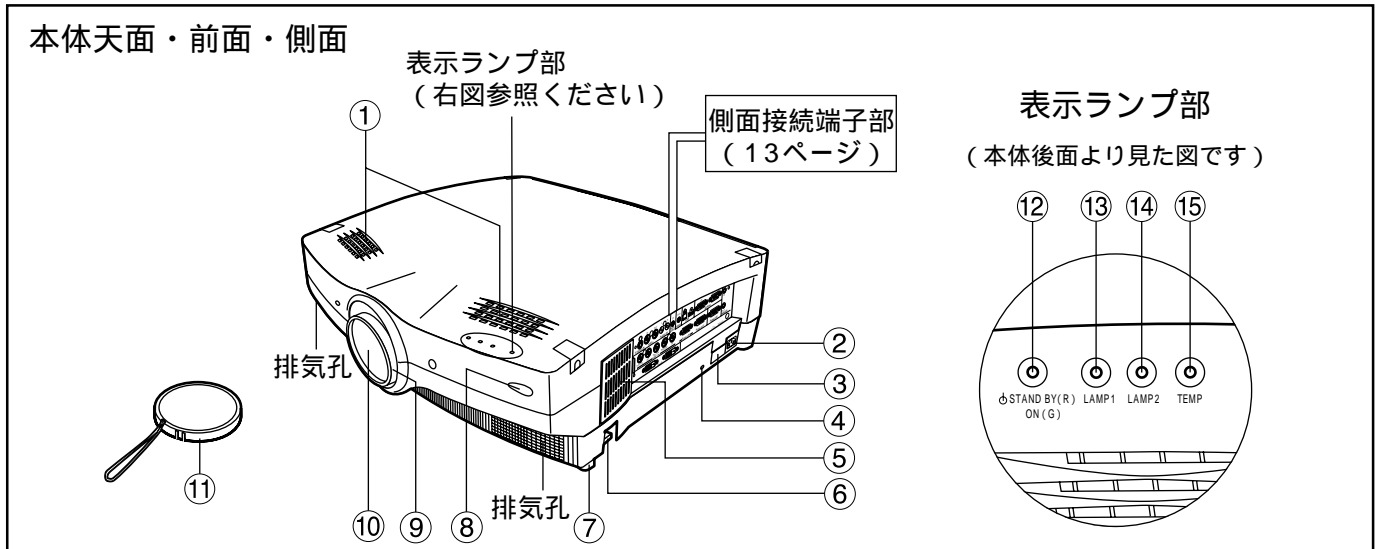
シグナルセレクターの接続で、豊富な映像ソースに対応



# 各部の名前と働き

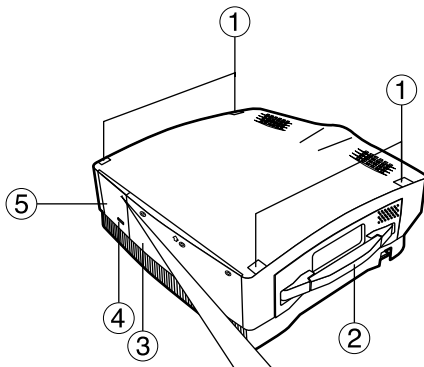


- リモコン**
- ① リモコン操作表示ランプ  
レーザー(LASER)ボタンを押すと点灯し、それ以外のリモコンボタンを押すと点滅します。
  - ② 電源(POWER)ボタン(23 ページ)  
本体の主電源(MAIN POWER)が「 | 」側のとき、電源の「入」「切」ができます。
  - ③ オートセットアップ(AUTO SET UP)ボタン(23 ページ)  
映像を投写して、このボタンを押すと画面表示位置が自動調整されます。自動調整中は画面に「自動位置補正」と表示されます。
  - ④ RGB ボタン(23 ページ)  
RGB1、RGB2、DVIの入力切り換えができます。
  - ⑤ レーザー(LASER)ボタン(15 ページ)  
ボタンを押している間、レーザー光が発射され、スクリーンにポインターを表示することができます。
  - ⑥ ビデオ(VIDEO)ボタン(16、23 ページ)  
ビデオとSビデオの入力切り換えができます。  
操作モード切り換え⑯をコンピュータ(Computer)側にしているときはページ(PAGE)ダウンになります。
  - ⑦ メニュー(MENU)ボタン(16、27、28 ページ)  
メインメニューを表示したり、消したりします。メニューが表示されているときは1つ前の画面に戻したりすることができます。  
操作モード切り換え⑯をコンピュータ(Computer)側にしているときはページ(PAGE)アップになります。
  - ⑧ ▲ ▼ ◀ ▶ ボタン(16、28 ページ)  
メニュー画面の項目の選択や、設定の切り換え、およびレベルの調整ができます。  
操作モード切り換え⑯をコンピュータ(Computer)側にしているときはマウスカーソルを移動させることができます。
  - ⑨ エンター(ENTER)ボタン(16、28 ページ)  
メニュー画面の項目の決定や実行をすることができます。操作モード切り換え⑯をコンピュータ(Computer)側にしているときはマウス右ボタンに相当します。
  - ⑩ フリーズ(FREEZE)ボタン(25 ページ)  
映像を一時的に静止させたいとき押します。
  - ⑪ シャッター(SHUTTER)ボタン(25 ページ)  
映像と音声を一時的に消したいとき押します。
  - ⑫ デジタルズーム(D.ZOOM + / -)ボタン(26 ページ)  
映像を部分的に拡大することができます。
  - ⑬ 音量(VOLUME + / -)ボタン(23 ページ)  
音量または音声出力(AUDIO OUT)端子の出力レベルが調整できます。
  - ⑭ ファンクション1(FUNC1)ボタン(35 ページ)  
メインメニュー内から「オプション2」画面の「FUNC1」で設定した機能をこのボタンで操作できます。
  - ⑮ ID SET ボタン(15 ページ)  
本体を複数台使用するシステム時、リモコンのIDを設定します。
  - ⑯ 操作モード切り換え  
(Computer, Projector)スイッチ(16 ページ)  
プロジェクターを操作するときは右側に、パソコンを操作するときは左側に切り換えます。
  - ⑰ リモコンワイヤード端子(17 ページ)  
ワイヤード出力端子を使用する場合はケーブル(付属品)でリモコンと本体を接続します。
  - ⑱ リモコン発信部  
本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
  - ⑲ レーザー光発射部
  - ⑳ クリックボタン(16 ページ)  
操作モード切り換え⑯をコンピュータ(Computer)側にしているときはマウス左ボタンに相当します。



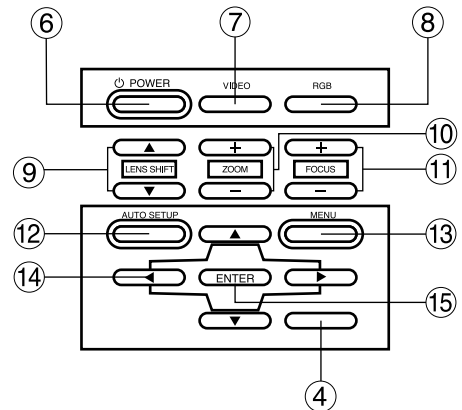
- ① スピーカー部  
6 W(3 W + 3 W)の音声を出力します。
- ② AC 入力(AC IN)端子(23 ページ)  
付属の電源コードを接続する端子です。  
付属のもの以外は接続しないでください。
- ③ 主電源(MAIN POWER)スイッチ(23 ページ)  
主電源を「|」(入)「○」(切)にすることができます。
- ④ 盗難防止用ロック  
市販の盗難防止用ケーブル(kensington 社製)  
などを接続することができます。  
また、kensington 社製のマイクロサーバーセ  
キュリティシステムに対応しています。  
日本国内総代理店の連絡先は下記の通りです。  
日本ポラデジタル株式会社 第3営業部  
〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号  
はごろもビル  
TEL:03-3537-1070 FAX:03-3537-1071  
\*連絡先は変更になる可能性がありますので  
ご了承ください。
- ⑤ エアフィルター部(41 ページ)
- ⑥ アジャスターレバー(24 ページ)  
本体の傾き補正に使用します。  
(レバーは左右にあります)
- ⑦ アジャスター機能付セット脚(24 ページ)  
本体の傾き調整に⑥と同時に使用します。  
(セット脚は左右にあります)
- ⑧ リモコン受光部(前)(14 ページ)  
リモコン信号の受光部です。
- ⑨ フォーカスリング(23 ページ)  
リングを回すと、フォーカスの調整ができます。  
電動でも、フォーカス調整ができます。
- ⑩ 投写レンズ  
スクリーンに映像を投写するレンズです。
- ⑪ レンズキャップ  
使用しないときは、レンズに被せてください。
- ⑫ 電源表示ランプ(23 ページ)  
主電源(MAIN POWER)スイッチが「|」側のとき  
赤色に、電源(POWER)が「入」のときは緑色に点  
灯します。
- ⑬ ランプ1 モニター(LAMP1)(40 ページ)  
ランプユニット1の交換時期になると点灯します。  
またランプ回路に異常が発生すると点滅します。
- ⑭ ランプ2 モニター(LAMP2)(40 ページ)  
ランプユニット2の交換時期になると点灯します。  
またランプ回路に異常が発生すると点滅します。
- ⑮ 温度モニター(TEMP)(40 ページ)  
本体内の内部温度の異常を点灯や点滅で表示します。

本体天面・後面・側面



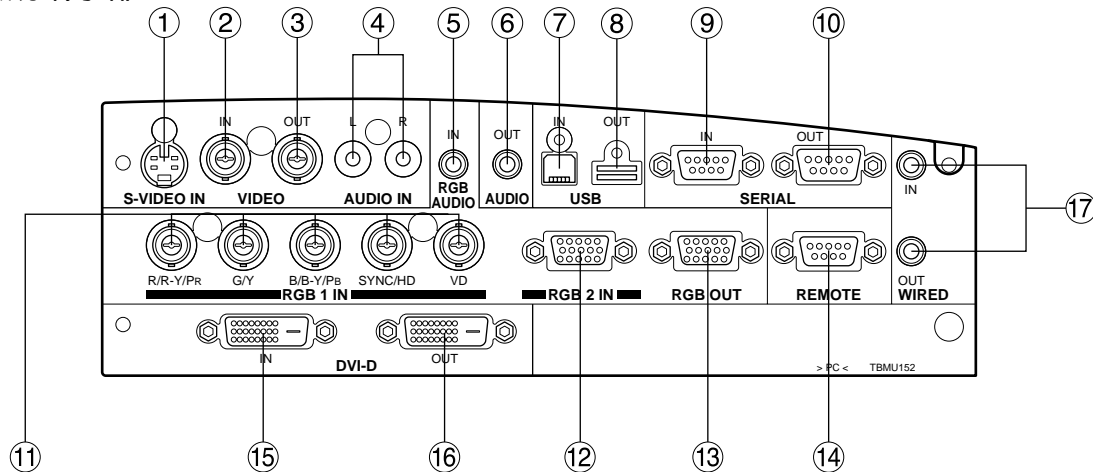
本体後面操作部扉の開けた  
扉の ▲ 部を指先でカチッと音がするまで押す。

後面操作部



- ① スタックふた  
本体を 2 台スタックで使用するとき、ふたをはずして、位置決めに使います。
- ② 運搬用取っ手  
取っ手を握り本機を持ち運びします。
- ③ ランプユニット収納扉(43 ページ)  
ランプユニットが収納されています。
- ④ リモコン受光部(後)(14 ページ)  
リモコン信号の受光部です。
- ⑤ 操作部扉  
本体操作部内の操作ボタンを使うときに開閉します。
- ⑥ 電源(POWER)ボタン(23 ページ)  
電源の「入」「切」を行います。
- ⑦ ビデオ(VIDEO)ボタン(23 ページ)  
ビデオまたは、S ビデオの入力切り換えができます。
- ⑧ RGB ボタン(23 ページ)  
RGB1、RGB2、DVIの入力切り換えができます。
- ⑨ レンズシフト(LENS SHIFT)ボタン(24 ページ)  
▲ ▼ボタンで投写画像の上下位置の調整をすることができます。
- ⑩ ズーム(ZOOM)ボタン(23 ページ)  
+ / - ボタンで画像サイズの調整をすることができます。
- ⑪ フォーカス(FOCUS)ボタン(23 ページ)  
+ / - ボタンでフォーカスの調整をすることができます。
- ⑫ オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタン(23 ページ)  
映像を投写して、このボタンを押すと画面表示位置の自動調整がされます。自動調整中は画面に「自動位置補正」と表示されます。
- ⑬ メニュー(MENU)ボタン(27、28 ページ)  
メインメニューを表示したり、消したりします。メニューが表示されているときは 1 つ前の画面に戻したりすることができます。
- ⑭ ▲ ▼◀ ▶選択ボタン(28 ページ)  
メニュー画面の項目を選択したり、設定の切り換えおよびレベルの調整ができます。
- ⑮ エンター(ENTER)ボタン(28 ページ)  
メニュー画面の項目の決定や実行をすることができます。

## 側面接続端子部



- ① Sビデオ入力(S-VIDEO IN)端子(19、20、33ページ)  
Sビデオ信号の入力端子です。(MIN4ピンDIN)  
S1信号に対応しており入力信号のサイズに合わせて16:9と4:3の自動切り換えを行います。
- ② ビデオ入力(VIDEO IN)端子(20、22ページ)  
ビデオ信号の入力端子です。(BNC)
- ③ ビデオ出力(VIDEO OUT)端子(20、22ページ)  
ビデオ信号の出力端子です。(BNC)
- ④ ビデオ用音声入力(AUDIO IN L-R)端子(20ページ)  
1つの入力端子しかありませんのでビデオとSビデオの音声を選択して使用してください。(RCAピンジャック)
- ⑤ RGB音声入力(RGB AUDIO IN)端子(20、21ページ)  
1つの入力端子しかありませんのでRGB1とRGB2とDVIで選択して使用してください。(M3ジャック)
- ⑥ 音声出力(AUDIO OUT)端子(20ページ)  
本体に入力された音声信号を出力します。この端子に接続すると内蔵スピーカーからは音声ができません。(M3ジャック)
- ⑦ USB入力端子(16、21、38ページ)  
付属のUSBケーブルを本体とパソコン間に接続してリモコンをマウスがわりに使用できます。(角型4ピンAタイプ)
- ⑧ USB出力端子  
⑦に入力された信号を出力して本体を複数台使用して連結制御することができます。(Bタイプ)
- ⑨ シリアル入力(SERIAL IN)端子(20、21、22、37ページ)  
パソコンを接続して本体を外部制御するためのRS-232C準拠の入力端子です。(D-SUB 9ピンメス型)
- ⑩ シリアル出力(SERIAL OUT)端子(21、22ページ)  
シリアル入力端子に接続されている信号を出力する端子です。(D-SUB 9ピンオス型)
- ⑪ RGB(YPbPr)1入力端子(20、21、22ページ)  
RGB信号またはYPbPr信号を入力する端子です。(BNC)
- ⑫ RGB(YPbPr)2入力端子(21ページ)  
RGB信号またはYPbPr信号を入力する端子です。(D-SUB 15ピンメス型)
- ⑬ RGB出力(RGB OUT)端子(21、22ページ)  
RGB1またはRGB2入力端子に接続されている信号を出力する端子です。(D-SUB 15ピンメス型)
- ⑭ リモート(REMOTE)端子(39ページ)  
本体を外部制御回路を使用して遠隔操作することができます。(D-SUB 9ピンメス型)
- ⑮ DVI-D入力(DVI-D IN)端子(19、21ページ)  
DVI-D信号を入力する端子です。(DVI 24ピン)
- ⑯ DVI-D出力(DVI-D OUT)端子(21ページ)  
DVI-D入力端子に接続されている信号を出力する端子です。(DVI 24ピン)
- ⑰ ワイヤード入力/出力(WIRED IN/OUT)端子(17ページ)  
本体を複数台使用するシステム時にワイヤードリモコンケーブルで連結制御することができます。(M3ジャック)

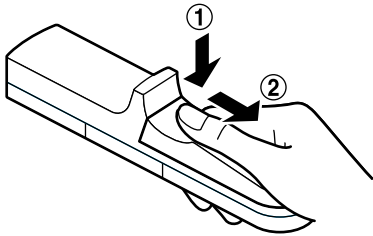
# リモコンの使いかた

## ■ 乾電池の入れかた

付属の単 4 形乾電池を極性に注意して入れてください。

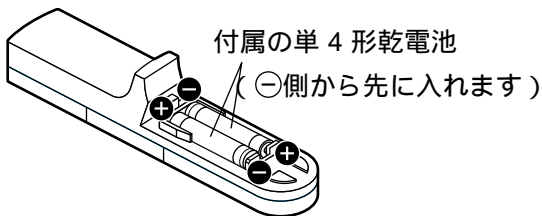
### 1. 電池ふたを開ける

①②の順でふたを開ける。



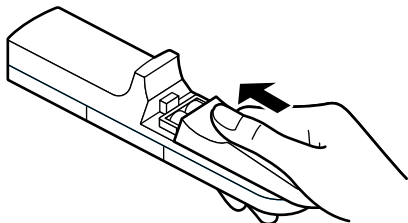
### 2. 乾電池を入れる

極性表示(+、-)に合わせて乾電池を入れます。



### 3. 電池ふたを閉める

ふたを元どおりにカチッと音がするまで閉めます。



#### お願い

リモコンは落とさないようにしてください。  
リモコンに液状のものをかけないようにしてください。  
ニカド電池は使用しないでください。

## ■ リモコンの有効操作範囲

リモコンの操作は、直接本体の前面・後面のリモコン受光部に向けて操作します。(図 1)

また、図 2 のようにスクリーンの反射を利用して操作することもできます。

操作可能距離は前面または後面受光部の正面より約 7 m 以内です。

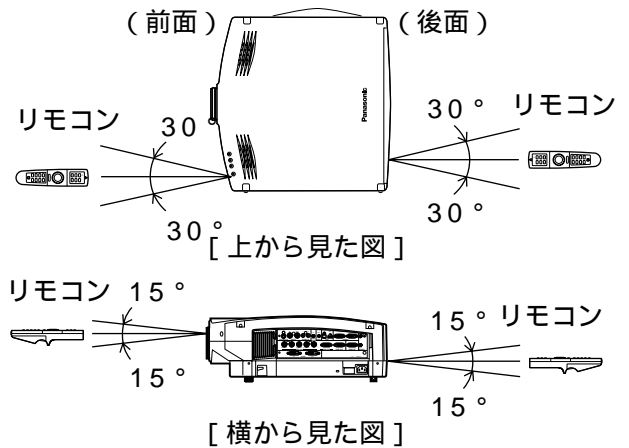


図 1

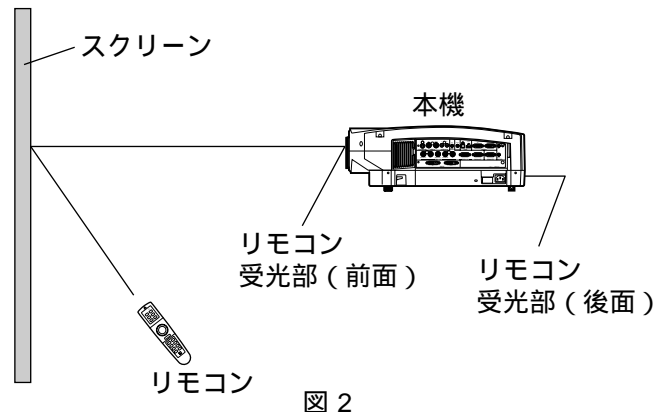


図 2

#### お知らせ

スクリーンに向けて操作する場合は、スクリーン特性による光反射ロスで操作有効範囲に制限がでる場合があります。

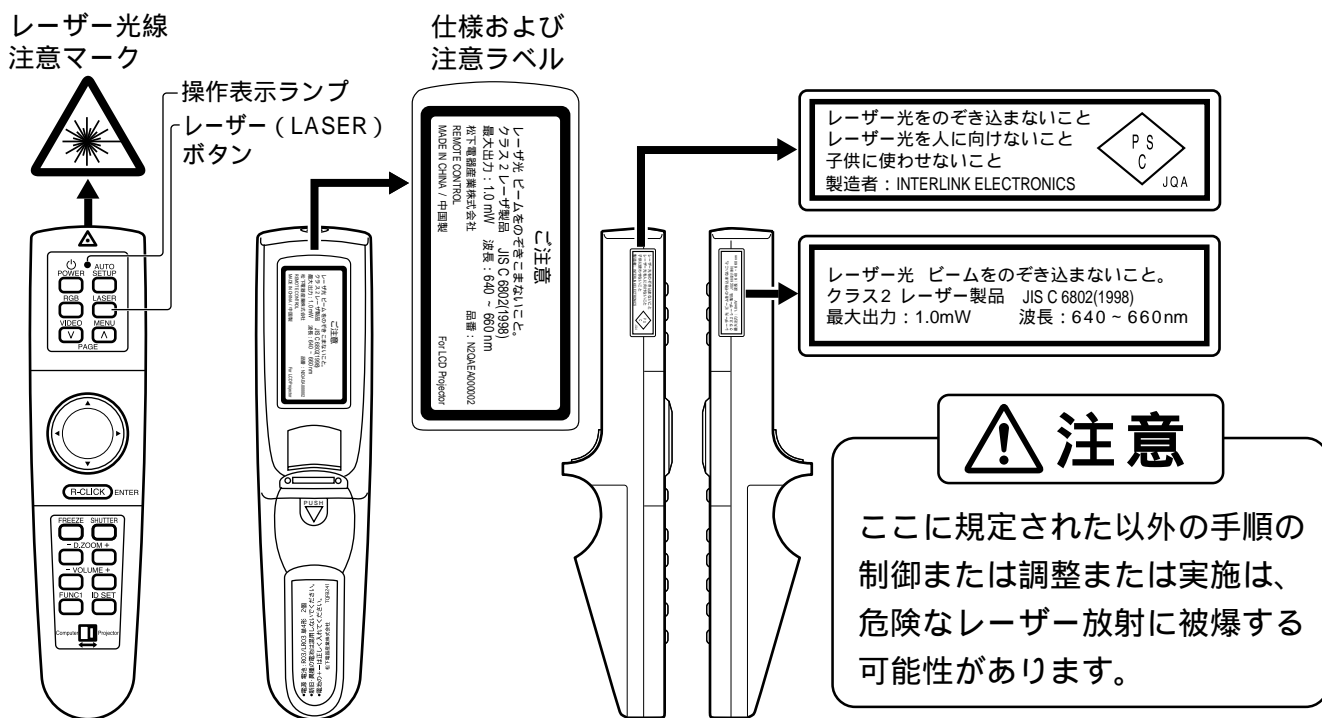
リモコンと受光部の間に障害物があると正しく動作しない場合があります。

リモコン受光部に蛍光灯などの強い光があたるとリモコンが誤動作する場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

## ■ レーザーポインターの機能を使う

リモコンから発射されるレーザー光をスクリーンに当てることによりポインターとして利用できます。リモコンのレーザー（LASER）ボタンを押している間、リモコンからレーザー光が発射され操作表示ランプが点灯します。

リモコンのレーザー発射口をのぞきこんだり、レーザー光を人に向けて発射すると、視力低下などの原因になることがありますので、ご注意ください。



## ■ リモコンのIDを設定する

本体を複数台並べて使用する場合に1つのリモコンで個別制御または同時制御するためには、リモコンのIDナンバーの設定と本体のIDナンバーを合わせる必要があります。下記の手順でリモコンのIDナンバーを設定してください。

リモコンのIDセット（ID SET）ボタンを押す。

IDナンバー「オール」がスクリーン上に表示されます。…電源（POWER）「入」時

ID SET ボタンを2秒以上押しつづける。

IDナンバー「1」が表示されIDセットボタンを押すごとに「2」、「3」、「オール」に切り換わります。

設定したいIDナンバーを選択してエンター（ENTER）ボタンで設定する。

リモコンのIDと本体のIDが一致した時の表示について

本体の電源（POWER）が「入」のとき

IDナンバーが白色でオンスクリーン上に表示されます。（一致しない場合は緑色で表示されます）

本体がスタンバイ状態のとき

本体の電源ランプが緑色で5秒間点滅します。（一致しない場合は赤色のままです）

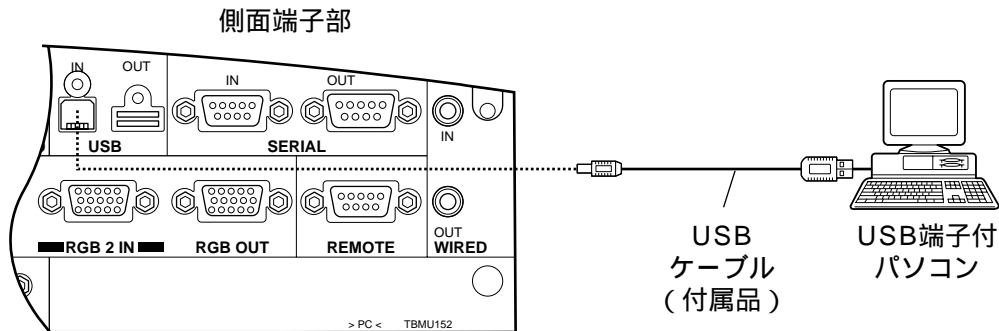
### お知らせ

工場出荷時は「オール」に設定されていますので1台だけのご使用の場合はIDナンバーの設定は必要ありません。

リモコンと本体のIDナンバーの設定を合わせないとリモコンによる電源（POWER）は入れることができません。本体のID設定のしかたは36ページをご覧ください。（セットIDの設定をご覧ください）

## ■ リモコンをパソコンのマウス代わりに使う

リモコンでパソコンを操作する場合は付属の USB ケーブルで本体とパソコンを接続します。

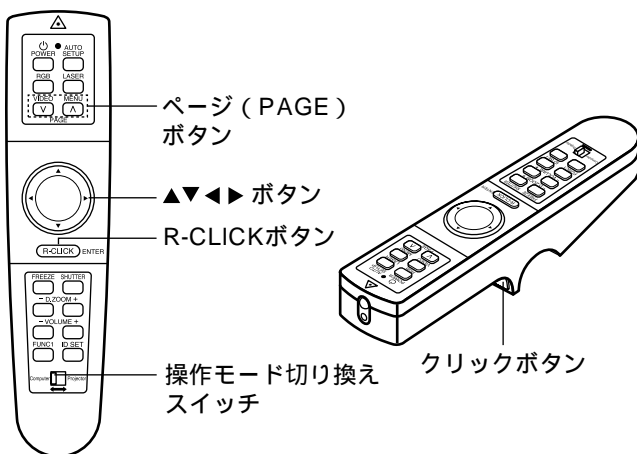


初めて USB ケーブルで本機とパソコンを接続した場合は、左下のようなパソコンから「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。パソコンの画面メッセージは気にせず「次へ」ボタンを順次クリックしてください。ドライバがインストールされていないため、右下のような「不明なデバイス」として認識されます。「完了」ボタンを押してください。

下記は Windows の場合です。



**お知らせ** 「キャンセル」ボタンをクリックすると毎回「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。



### 操作モード切り換えスイッチ

コンピューター(Computer)側に切り換えます。

ページ(PAGE)ボタン

Λ : パソコンのキーボード Page Up として使用できます。

V : パソコンのキーボード Page Down として使用できます。

▲ ▼ ◀ ▶ ボタン

マウスカーソルを上下左右に移動できます。

R-CLICK ボタン

マウスの右ボタンとして使用できます。

クリックボタン

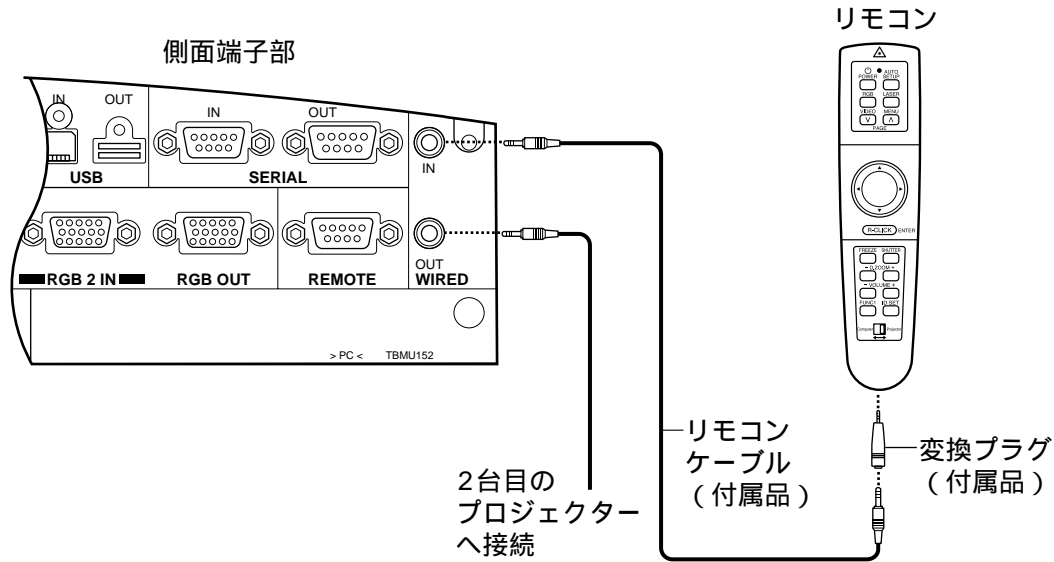
マウスの左ボタンとして使用できます。

**お知らせ** USB 端子のないパソコンでリモコンをマウスがわりに使用する場合は別売品のワイヤレスマウスレーザー (品番 : TW-RMRC1) をお買い求めください。ただしページ (PAGE) ボタンは機能しません。



## ■ ワイヤードリモコンで使う

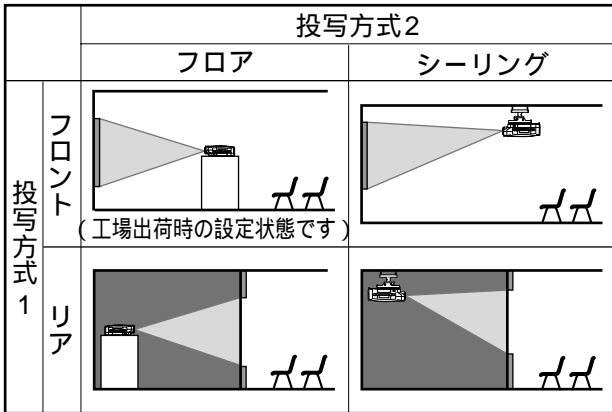
本体を複数台接続するシステムでワイヤード入出力端子を利用して複数台を1つのリモコンで同時制御したい場合は、付属のリモコンケーブルを接続して制御します。また本機の設置環境によっては、本機とリモコンの間に障害物があったり外光の影響を受けやすい場所で使用する場合など効果的です。



# 設置する

## ■ 投写方式

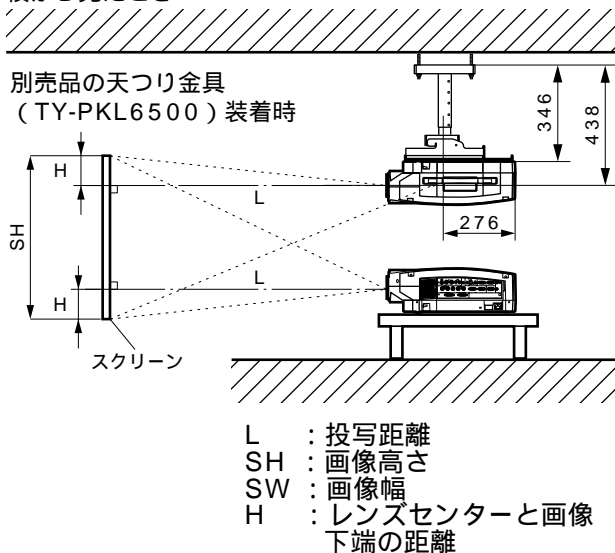
本機は、下図の4通りの投写方式が可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。投写方式の設定方法については、メニュー画面のオプションメニュー1で行うことができます。(34ページ参照)



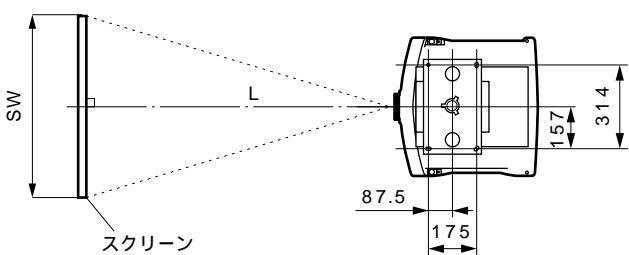
## ■ 投写関係

本機の設置は、下図や右表を参考にして設置してください。なお、電動ズームレンズの採用により画面サイズの調整と、レンズ位置移動機能による画面位置の高さ調整が可能です。

横から見たとき



真上から見たとき



[単位 mm]

## ■ 投写距離

[単位 m]

画面サイズ(4:3)			投写距離(L)		高さ位置(H)
対角(型)	高さ(SH)	幅(SW)	ワイド(LW)	テレ(LT)	
30	約0.46	約0.61	—	約1.4	約0.02~0.22
40	約0.61	約0.81	約1.4	約1.9	約0.03~0.30
50	約0.76	約1.02	約1.8	約2.4	約0.04~0.38
60	約0.91	約1.22	約2.1	約2.9	約0.05~0.45
80	約1.22	約1.63	約2.9	約3.9	約0.06~0.60
100	約1.52	約2.03	約3.6	約4.9	約0.08~0.76
120	約1.83	約2.44	約4.3	約5.9	約0.09~0.91
140	約2.13	約2.84	約5.1	約6.9	約0.11~1.06
160	約2.44	約3.25	約5.8	約7.9	約0.12~1.21
180	約2.75	約3.66	約6.6	約8.9	約0.14~1.37
200	約3.05	約4.06	約7.3	約9.9	約0.15~1.52
220	約3.35	約4.47	約8.1	約10.9	約0.17~1.67
240	約3.66	約4.88	約8.8	約11.9	約0.18~1.82
260	約3.96	約5.28	約9.5	約12.9	約0.20~1.98
280	約4.27	約5.69	約10.3	約13.9	約0.21~2.13
300	約4.57	約6.10	約11.0	約14.9	約0.23~2.28

上記の表以外の投写寸法は下記の計算式で求めることができます。画面サイズ(対角)をSDとすると、下記の計算でまず画像幅(SW)を求めることができます。SDの単位はインチです。(1インチ=0.0254m)

$$SW = (SD \times 0.0254) \times 4 \div 5$$

上記で求めたSWよりワイド時の投写距離(LW)、テレ時の投写距離(LT)を下記の計算式で求めることができます。

$$LW = 1.831 \times SW - 0.071$$

$$LT = 2.449 \times SW - 0.066$$

16.9の場合は、下記の計算式で画像幅(SW)を求めることができます。

$$SW = (SD \times 0.0254) \times 16 \div \sqrt{327}$$

### お知らせ

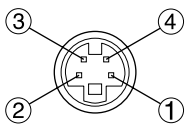
上記の表の寸法や計算式で求められる値は若干の誤差があります。ワイド時の投写距離で設置されることをお勧めします。(ただし、画面サイズが30型の場合を除く) 上記寸法は、画面サイズが4:3の場合を示しています。SXGA信号を入力して投写した場合、投写画面の左右がブランキングされ、画面サイズが5:4で投写されます。

# 接続する

## ■ 接続する前に

- 接続の際は、接続される機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてからケーブルの接続を行ってください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画面がふらつくことがあります。  
この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号はビデオ信号、Sビデオ信号、アナログRGB信号（同期信号はTTLレベル）およびパソコンからのデジタル信号です。
- スピーカーを内蔵していますが、大きな音量を必要とする場合は音声出力（AUDIO OUT）端子にオーディオ機器の接続が必要です。ただし、音声出力（AUDIO OUT）端子を使用されると、内蔵スピーカーからは音声が出ません。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。

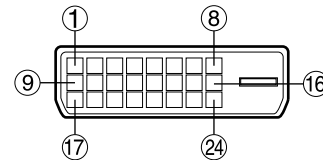
- Sビデオ入力（S-VIDEO IN）端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

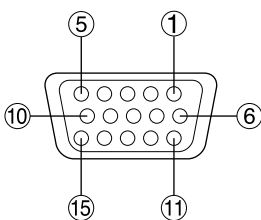
ピンNo.	信号
①	アース(輝度信号)
②	アース(色信号)
③	輝度信号
④	色信号

- DVI-D入力端子のピン配列と信号名は、下記の通りです。（TMDS付パソコン用端子）



外側から見た図

- RGB2入力端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

ピンNo.	信号
①	R/P <sub>R</sub>
②	G/G・SYNC/Y
③	P <sub>B</sub>
⑫	SDA
⑬	HD/SYNC
⑭	VD
⑮	SCL

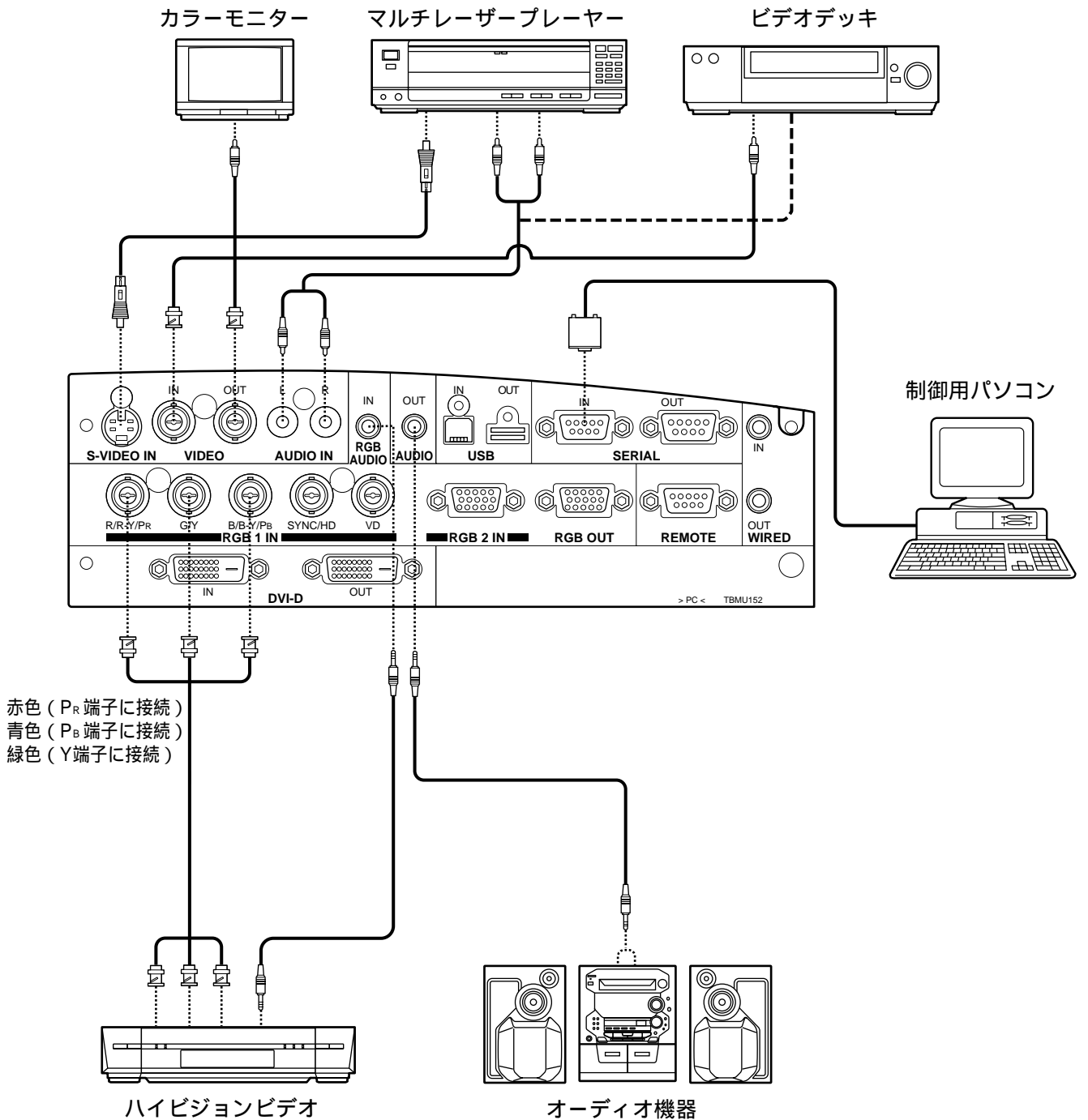
ピンNo.	信号	ピンNo.	信号
①	T.M.D.Sデータ2-	⑬	T.M.D.Sデータ3+
②	T.M.D.Sデータ2+	⑭	+5V
③	T.M.D.Sデータ2/ 4シールド	⑮	グランド
		⑯	ホットプラグ検出
④	T.M.D.Sデータ4-	⑰	T.M.D.Sデータ0-
⑤	T.M.D.Sデータ4+	⑱	T.M.D.Sデータ0+
⑥	DDCクロック	⑲	T.M.D.Sデータ0/5 シールド
⑦	DDCデータ		
⑧	—	⑳	T.M.D.Sデータ5-
⑨	T.M.D.Sデータ1-	㉑	T.M.D.Sデータ5+
⑩	T.M.D.Sデータ1+	㉒	T.M.D.Sクロック シールド
⑪	T.M.D.Sデータ1/3 シールド		
⑫	T.M.D.Sデータ3-	㉓	T.M.D.Sクロック+
		㉔	T.M.D.Sクロック-

⑨は未使用

④～⑧、⑩、⑪はGND端子です。

⑫、⑮はパソコン側に機能が  
あれば有効です。

## ■ AV 機器との接続例

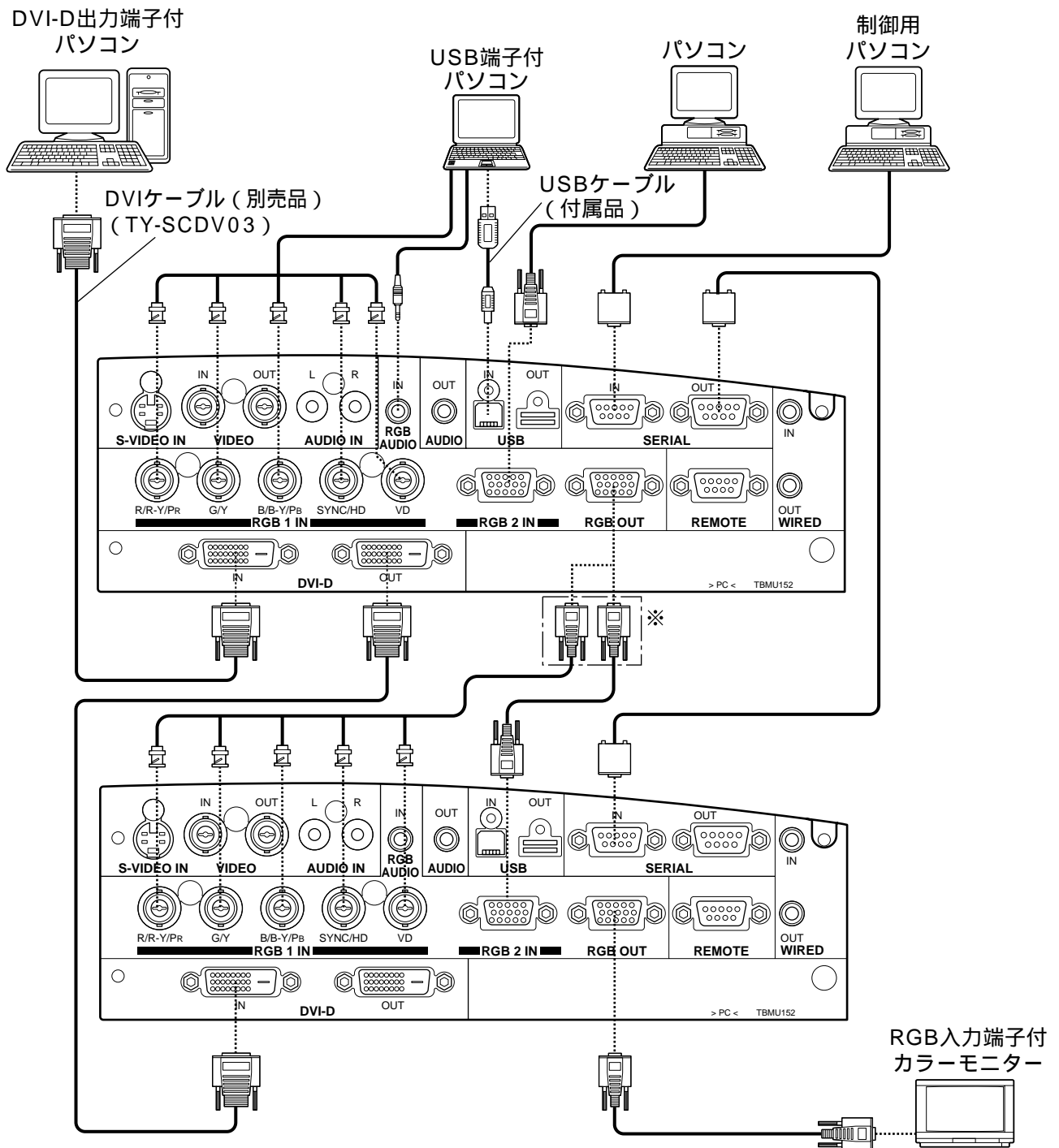


### お知らせ

Sビデオ/ビデオ信号の音声入力 (AUDIO IN L-R) 端子およびRGB1、RGB2 DVIのオーディオ入力端子はそれぞれ1系統しかないので、使用される信号に合わせさし換えが必要になります。

音声出力 (AUDIO OUT) 端子にオーディオ機器を接続しているときは、付属のリモコンで音量調整やミュート機能を制御することが可能です。

## ■ パソコンとの接続例



### お願い

本体の主電源を切ったときにはパソコンの電源も切ってください。

はRGB出力 (RGB OUT) でスタック接続を行なうと2台目のセットのポジション調整が必要となります。なるべく信号源を分配して接続してください。

### お知らせ

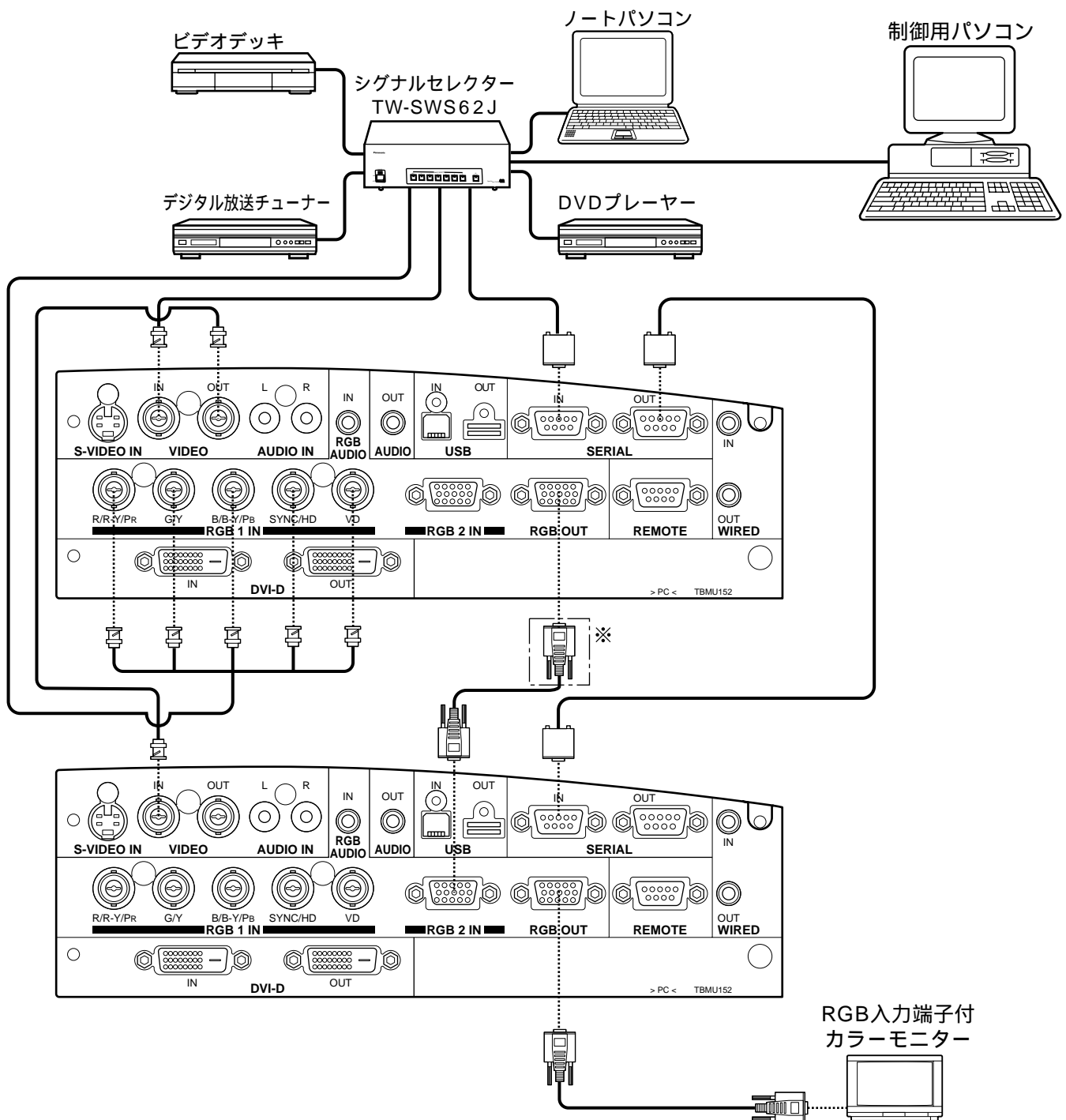
USB端子を持っていないパソコンでマウス機能を使用する場合、別売品のワイヤレスマウスレシーバー (TW-RMRC1) が必要です。

本機に接続できるパソコンからのRGB信号は、48ページに記載のデータを参照ください。

レジューム機能 (ラストメモリー) のパソコンを使用される場合は、その機能をリセットしないと動作しない場合があります。

RGB出力 (RGB OUT) 端子からはRGB1またはRGB2の入力端子に接続された信号が出力されます。

■ シグナルセクターなどの接続例



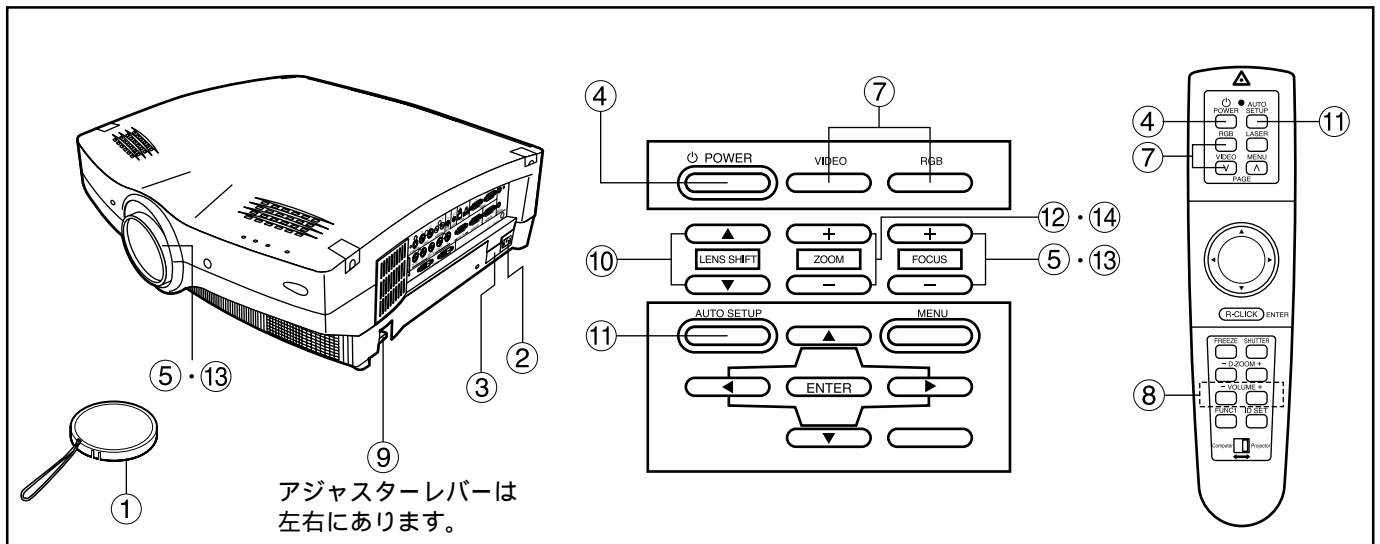
**お願い**

はRGB出力 (RGB OUT) でスタック接続を行なうと2台目のセットのポジション調整が必要となります。なるべく信号源を分配して接続してください。

**お知らせ**

シグナルセクター (TW-SWS62J) の取扱説明書も、よくお読みください。

# 投写する



アジャスターレバーは左右にあります。

## ■ 電源を入れる

- ① レンズカバーをはずす。
- ② 電源コード(付属)を接続する。(AC 100 V 50 Hz/60 Hz)
- ③ 主電源(MAIN POWER)スイッチの「|」側を押し電源を入れる。  
電源表示ランプが赤色に点灯してスタンバイ状態になります。
- ④ 電源(POWER)ボタンを押す。... [ 本体またはリモコン ]  
電源表示ランプが橙色に点滅します。  
電源を入れて、しばらくすると緑色の点灯に変わり映像が投写されます。

## ■ 調整・選択をする

- ⑤ 画像のピントをおおまかに合わせる。  
本体後面操作部のフォーカス(FOCUS + / -)ボタンを押します。また本体投写レンズのフォーカスリングを手で直接回してもできます。
- ⑥ 投写方式を設定する。(34 ページ)
- ⑦ 入力切り換え(RGB、VIDEO)ボタンを押して入力信号を選択する。... [ 本体またはリモコン ]

RGB	RGB1(YPbPr1) → RGB2(YPbPr2) → DVI
VIDEO	S-VIDEO ↔ VIDEO

- ⑧ 音量(VOLUME + / -)ボタンを押して音量を調整する。... [ リモコン ]  
音声出力(AUDIO OUT)端子にオーディオ機器を接続の場合は、出力レベルの調整になります。  
メニューからも調整することができます。(27 ページ)
- ⑨ 本体の前後の傾きを調整する。(24 ページ)
- ⑩ 投写画面位置の高さ調整をする。(24 ページ)
- ⑪ オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押す。... [ 本体またはリモコン ]

- ⑫ 画像の大きさをスクリーンに合わせる。... [ 本体 ]  
本体後面操作部のズーム(ZOOM + / -)ボタンを押します。スクリーンと投写画像が合うまで⑨ ~ ⑫の手順をくり返す。
- ⑬ フォーカス(FOCUS + / -)ボタンを押して画像のピントを合わせる。(本体投写レンズのフォーカスリングを手で直接回してもできます)
- ⑭ 再度、ズーム(ZOOM + / -)ボタンを押して画像の大きさをスクリーンに合わせます。

## ■ 電源の切りかた

- 1、電源(POWER)ボタンを0.5秒以上または素早く2回押す。  
光源ランプが消え映像の投写を停止します。  
(電源表示ランプの点灯が橙色に変わります)
- 2、電源表示ランプが赤色に点灯する(冷却ファンが停止)まで待つ。  
冷却ファンが回転している間は絶対に主電源(MAIN-POWER)スイッチを切ったり電源コードを抜いたり、ブレーカーを落としたりしないでください。
- 3、主電源(MAIN POWER)スイッチの「O」側を押して電源を切る。

### お知らせ

電源を切った後の光源ランプ冷却中に電源を入れるとすぐには点灯せず、しばらくしてから自動的に点灯します。  
(電源表示ランプ...橙点滅)  
スタンバイ状態で冷却ファンが停止した状態でも約9Wの電力を消費しています。(電源表示ランプ...赤点灯)  
使用中に間違っても主電源を切った場合、電源を入れてもすぐにランプが点灯しないことがあります。この場合、しばらくたってから自動的に再点灯を行います。(電源表示ランプ...緑点灯)

準備

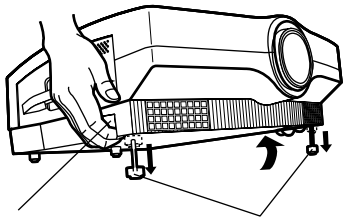
使いかた

## ■ 本体を水平に設置する

歪のない正しい投写画像を見るには、本体を水平に設置する必要があります。

本体をテーブルなどに置いて使用する場合で上下の傾きを補正する必要がある場合は下記の手順で調整してください。

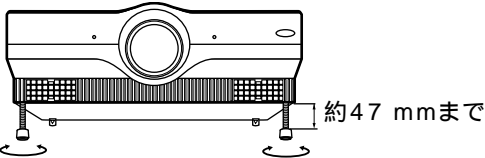
1. 水平になる位置まで本体前方を持ち上げ、その状態で側面下部（左右2箇所）にあるアジャスターレバーを持ち上げる。アジャスター機能付きセット脚（左右）が設置面に当たるまで出ます。



アジャスターレバー アジャスター機能  
(反対面にもあります) 付きセット脚

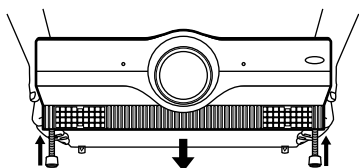
**お願い** アジャスター機能付きセット脚が左右2本とも設置面に当たるまで、本体から手を離さないでください。

2. アジャスターレバーから手を離す。手を離れた時点でアジャスター機能はロックされます。
3. アジャスター機能付きセット脚を手で回して水平になるように微調整する。



**お知らせ** アジャスター機能付きセット脚の調整可能範囲は約47 mmまでです。それ以上回すと空回りします。台形歪みがある場合は台形補正調整をメニュー操作で行ってください。(32ページ)

アジャスター機能付きセット脚を収納したい時は本体前方を少し持ち上げてからアジャスターレバーを持ち上げたまま、その状態でゆっくり本体を下げます。



**お願い** 本体を手で支えない状態でアジャスターレバーを持ち上げないでください。ロックが解除され、本体が急激に下がって設置面に当たり、故障の原因となることがあります。

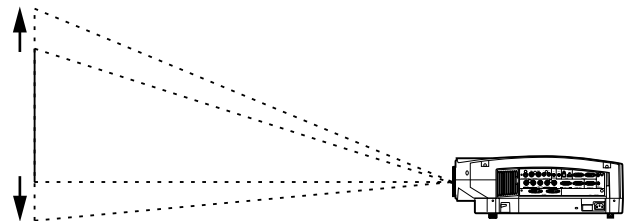
## ■ 投写画面位置の高さ調整

本体後面操作部にある電動レンズシフト (LENS SHIFT) ボタンで投写レンズの高さを変えることにより、投写画面位置の高さを調整することができます。

投写距離と設置位置が決定した後に、投写画面位置の調整を行ってください。

本体の LENS SHIFT ボタンで直接調整する場合

▲ボタンを押すと：  
投写画像位置が上へ移動します。



▼ボタンを押すと：  
投写画像位置が下へ移動します。

メニューの操作で調整する場合

「メインメニュー」から「オプション1」の「レンズシフト」を選択しても高さの調整をすることができます。(34ページをご覧ください)

## ⚠ 注意



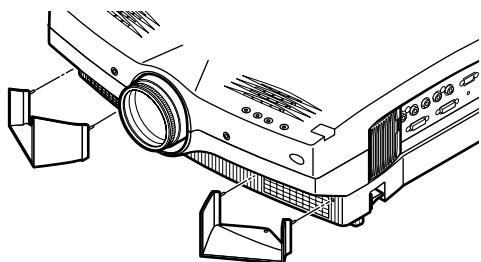
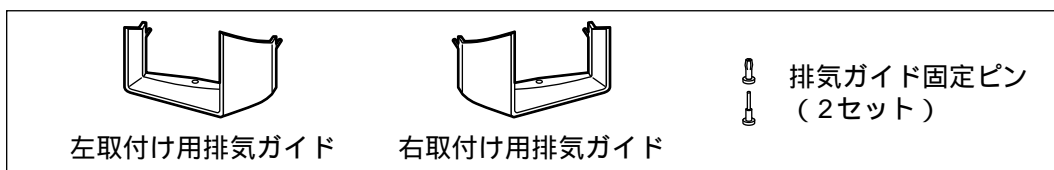
挟まれ注意

レンズシフト動作中は、周辺の開口部に手を挟まれないよう注意する。

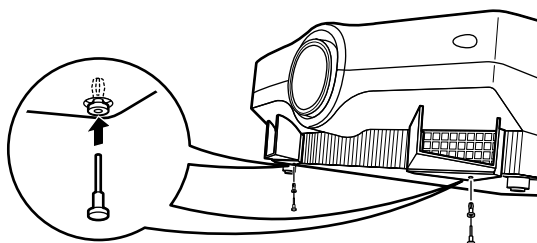


## ■ 排気ガイド取り付けのお勧め

排気孔からの熱せられた空気の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。  
この場合は付属の排気ガイド 2 個を取り付けてください。



左取付け用と右取付け用を確認して、  
本体前面の穴にノブを差し込む。

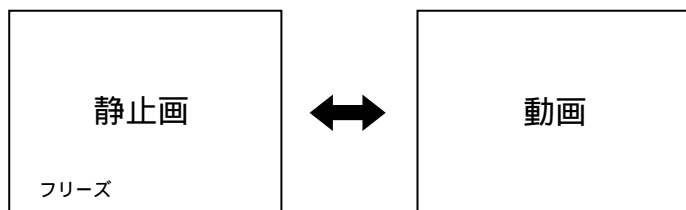


付属の排気ガイド固定ピンを本体の下  
から差し込み、固定する。

使  
い  
か  
た

## フリーズ (FREEZE) 機能を使う

リモコンのフリーズ (FREEZE) ボタンを押すごとに静止画と動画を切り換えます。



## シャッター (SHUTTER) 機能を使う

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像と音声を一時的に消すことのできる消費電力が少ないシャッターモードにすることができます。

リモコンのシャッター (SHUTTER) ボタンを押す。

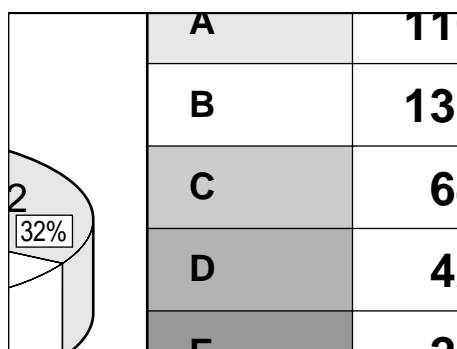
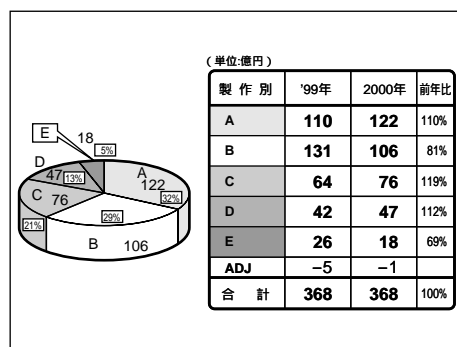
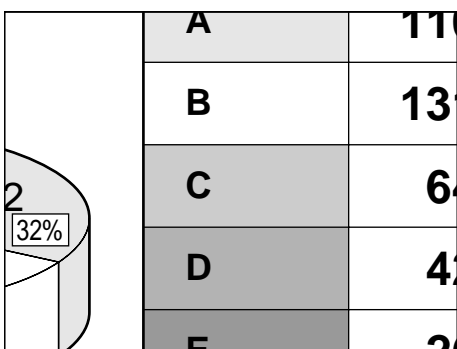
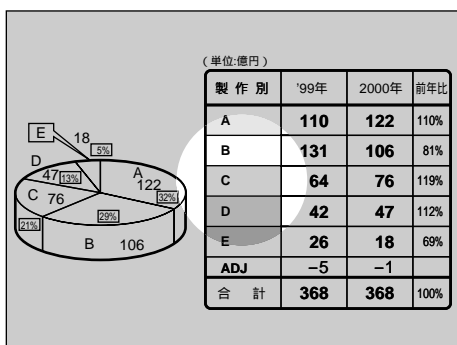
映像、音声が消えます。

リモコンまたは本体操作ボタンのいずれかのボタンを押す。

映像、音声が出ます。

# デジタルズーム(D.ZOOM + / -)機能を使う

リモコンのデジタルズーム(D.ZOOM + / -)ボタンを押すことで映像を部分的に拡大できます。拡大したい部分をスポット表示することでプレゼンテーション時の演出効果を出すことができます。



## TH-L6510の場合

リモコンのデジタルズーム(D.ZOOM + / -)ボタンを押す。

スポット表示モードになります。

▲▼◀▶ボタンで拡大したい部分にスポットを移動させる。

エンター(ENTER)ボタンを押す

スポット表示した部分を2.0倍に拡大して表示します。

デジタルズーム(D.ZOOM + / -)ボタンで倍率を変える。

倍率は0.1倍ごとにRGB(DVI)信号入力時は1.0倍~3.0倍まで調整できます。VIDEO信号入力時は1.0倍~2.0倍まで調整できます。

メニュー(MENU)ボタンを押す、元の画面に戻る。

スポット表示モードには戻りません。スポット表示モードを表示させるには拡大画面を解除してから再度デジタルズーム(D.ZOOM + / -)ボタンを押してください。

## TH-L6600Jの場合

リモコンのデジタルズーム(D.ZOOM + / -)ボタンを押す。

中心部を拡大して表示します。

デジタルズーム(D.ZOOM + / -)ボタンで倍率を変える。

倍率は0.1倍ごとにRGB(DVI)信号入力時は1.0倍~3.0倍まで調整できます。VIDEO信号入力時は1.0倍~2.0倍まで調整できます。

▲▼◀▶ボタンで拡大した画面を移動させる。

メニュー(MENU)ボタンを押す、元の画面に戻る。

**お願い** デジタルズーム中に入力信号の種類が変わるとデジタルズーム機能が解除されます。TH-L6600Jの場合は、スポット表示は出ません。

# オンスクリーンメニューについて

## ■ メニュー画面一覧

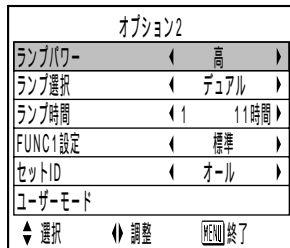
本機では、各種設定や調整および変更はメニュー操作によって実行されます。  
本機のメニュー全体の構成は下図のとおりです。

### メインメニュー (TH-L6510)

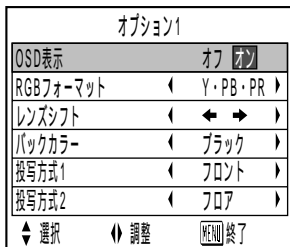


**お知らせ** TH-L6600Jは  
「インデックスダブル」  
の機能はありません。

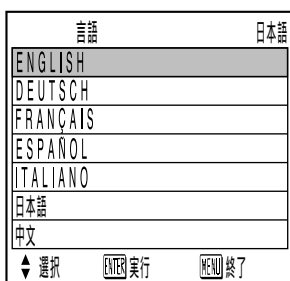
### オプション2 (35、36ページ)



### オプション1 (34ページ)



### 言語 (33ページ)



### ズーム/フォーカス (33ページ)

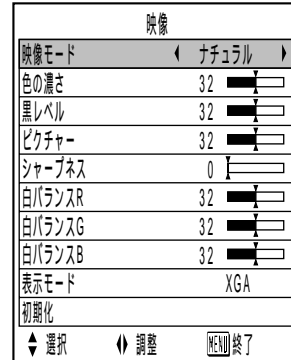
### 音声調整



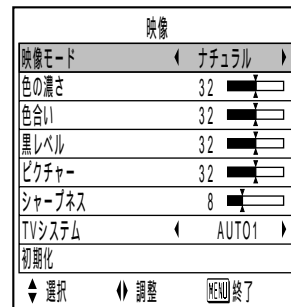
エンター (ENTER) ボタンを押し、  
◀または▶ボタンを押すと個別調整  
画面になり音量調整ができます。

### インデックスダブル機能 (29ページ)

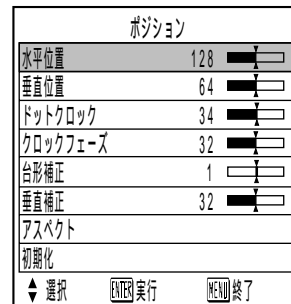
### 映像 (30、31ページ) RGB/YPbPr/DVI信号投写時



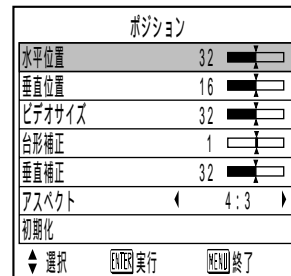
### Sビデオ/ビデオ信号投写時



### ポジション (32、33ページ) RGB/YPbPr/DVI信号投写時



### Sビデオ/ビデオ信号投写時



使  
い  
か  
た

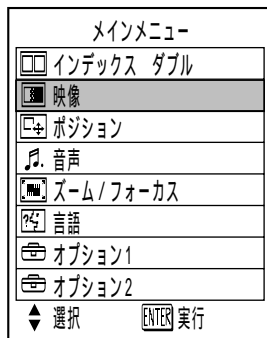
## ■ メニュー画面の基本操作

メニュー（MENU）ボタンを押す。  
メインメニュー画面を表示します。

（例：TH-L6510）

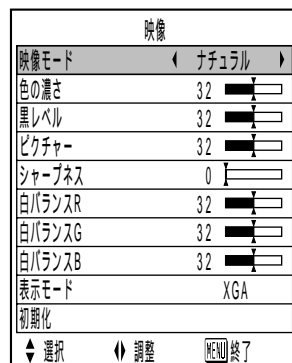


▲または▼ボタンを押して項目を選択する。  
選択中の項目は黄色で表示します。



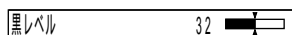
エンター（ENTER）ボタンを押して決定する。  
選択したメニュー画面の詳細が表示されます。

（例：映像メニュー）



▲または▼ボタンを押して項目を選択し、  
◀または▶ボタンを押して設定の切り換え  
や調整をする。

調整する項目は、バースケールで下図のような個別  
調整画面が表示されます。



個別調整画面表示中、約5秒間ボタン操作をしな  
いと、前の画面に戻ります。

## ■ 前の画面に戻すには

メニュー画面が表示されている状態のときにメニュー  
（MENU）ボタンを押すと前の画面に戻ります。  
メインメニュー画面が表示されている状態のとき  
メニュー（MENU）ボタンを押すとメニュー画面  
が消えます。

## ■ メニュー画面項目の白文字表示について

本機に入力される信号によっては、調整できない  
項目や使用できない機能があります。  
調整または使用できない状態のときは、メニュー画  
面の項目が白文字で表示されエンター（ENTER）ボ  
タンを押しても実行されません。

## ■ メニュー画面の表示について

選択された項目によりメニューの最下部の表示が  
異なります。

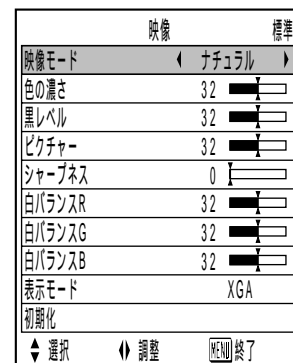
設定の切り換え時は「◀▶調整」と表示されます。  
バースケール（調整）項目は「ENTER 実行」と表  
示されます。

## ■ 調整値を工場出荷状態に戻す

「映像」メニュー、「ポジション」メニューの「初期化」  
とリモコンのFUNC1ボタンに設定された「標準」を  
実行すると、調整値が工場出荷状態に戻ります。

メニュー画面表示時

メニューの右上に「標準」と表示されます。



バースケールは標準値に戻すと緑色に表示され  
ます。



### お知らせ

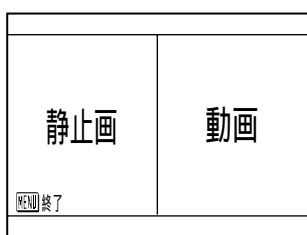
バースケールの上下の三角マークは工  
場出荷状態を示してします。三角マ  
ークがない項目は、工場出荷状態に戻  
せません。



工場出荷時の標準値を  
示しています。  
現在の調整値を示しています。

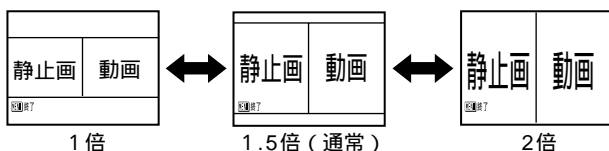
# インデックスダブル機能を使う (TH-L6510のみ)

投写中の画像をメモリーに記録し、静止画像と動画の2画面表示や静止画像と動画の入れ換えができます。

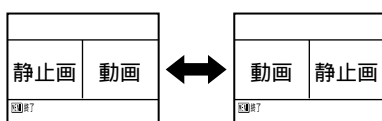


**お知らせ** 画面のアスペクト比は2:3となり、画像の高さ比が通常の1.5倍となります。

メニューの「インデックスダブル」を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す。



▲▼ボタンで画面サイズを設定する。  
上下方向に1倍、1.5倍、2倍の3段階に切り換えることができます。



◀▶ボタンを押して左右の静止画と動画を切り換える。

エンター (ENTER) ボタンを押して画像をメモリーに記録する。

**お願い** 画面サイズを切り換えると映像のアスペクト比が変わります。33ページのS1信号のお願いを十分に理解した上でご使用ください。

**お知らせ** 前述の手順、 を行うとメモリーがリセットされ画像が改めてメモリーに記録されます。インデックスダブル中に入力信号の種類が変わると、インデックスダブル機能が解除されます。

使  
い  
か  
た

# 映像の調整

メニュー画面を出し▲▼ボタン（本体操作部またはリモコン）で項目を選択します。

◀▶ボタンで設定を切り換えます。

バースケールの項目はエンターまたは◀▶ボタンを押して個別調整画面を表示させ

◀▶ボタンで調整します。

## RGB/YPbPr/DVI 信号投写時

映像	
映像モード	◀ ナチュラル ▶
色の濃さ	32
黒レベル	32
ピクチャー	32
シャープネス	0
白バランスR	32
白バランスG	32
白バランスB	32
表示モード	XGA
初期化	
◆ 選択	◀▶ 調整  終了

## S ビデオ / ビデオ信号投写時

映像	
映像モード	◀ ナチュラル ▶
色の濃さ	32
色合い	32
黒レベル	32
ピクチャー	32
シャープネス	8
TVシステム	◀ AUTO1 ▶
初期化	
◆ 選択	◀▶ 調整  終了

## ■ 映像モード

映像ソースや本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えることができます。

映像モード	◀ ナチュラル ▶
	↑ ↓
	◀ ダイナミック ▶

ナチュラル : 標準的な明るさの場所で使用する場合に適した画像になります。

ダイナミック : 明るい場所で使用する場合に適した画像になります。

## ■ 色の濃さ (S ビデオ / ビデオ / YPbPr 信号入力時のみ)

▶ボタンを押すと: 色が濃くなります。

◀ボタンを押すと: 色がうすくなります。

## ■ 色合い (NTSC/NTSC4.43 信号入力時のみ)

肌色の部分を調整します。

▶ボタンを押すと: 色合いが変化し肌色が緑色がかった色になります。

◀ボタンを押すと: 色合いが変化し肌色が赤紫色がかった色になります。

**お知らせ**

TH-L6600JはYPbPr時も調整することができます。

## ■ 黒レベル

画面の暗い部分 (黒色) を調整します。

▶ボタンを押すと: 画面が明るくなります。

◀ボタンを押すと: 画面が暗くなります。

## ■ ピクチャー

色の明暗度を調整します。

▶ボタンを押すと: 画面が明るく映像が濃くなります。

◀ボタンを押すと: 画面が暗く映像がうすくなります。

## ■ シャープネス

(TH-L6510はビデオ / RGB / YPbPr 信号時のみ)

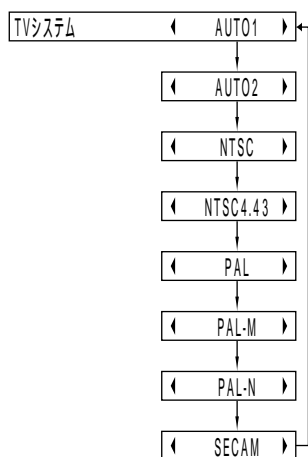
(TH-L6600Jはビデオ / YPbPr 信号時のみ)

映像の画質を調整します。

▶ボタンを押すと: 画質がシャープになります。

◀ボタンを押すと: 画質がソフトになります。

## ■ TV システム (Sビデオ/ビデオ信号のみ)



「AUTO1」: NTSC/PAL/NTSC4.43/SECAMの中から自動選択します。

「AUTO2」: NTSC/PAL-M/PAL-Nの中から自動選択します。

通常は「AUTO1」または「AUTO2」に設定します。入力信号が劣化して映像の質が悪いときに、正常に表示しない場合はそれぞれのTVシステムに設定を変えてください。

下表の水平/垂直走査周波数、色副搬送波の違いを検知して自動選択します。

信号方式	水平走査 周波数 (KHz)	垂直走査 周波数 (Hz)	色副搬送波 (MHz)
NTSC	15.75	60.00	3.58
NTSC4.43	15.75	60.00	4.43
PAL	15.63	50.00	
PAL-M	15.75	60.00	3.58
PAL-N	15.63	50.00	
SECAM	15.63	50.00	4.25または4.41

## ■ 白バランス R/G/B (RGB/DVI信号のみ)

映像画面の白色部分が赤み、または青みを帯びたりしているような場合に調整します。

▶ボタンを押すと: 選択した項目の色が強くなります。

◀ボタンを押すと: 選択した項目の色が弱くなります。

**お知らせ** RGB1、RGB2とDVIの入力別の調整ができます。

## ■ 表示モード (RGB/YPbPr/DVI信号のみ)

現在投写されている信号名を表示します。

信号名の詳細については48ページの表をご覧ください。

ユーザーモードが登録されていれば、下記のような表示になり◀▶ボタンで「AUTO」またはユーザーアドレス (USER1 ~ USER3) のうち登録済みのものに切り換えることができます。「AUTO」に設定されていれば、自動的にユーザー登録以外の信号から近い設定が選択されます。



(上記はユーザーモードがアドレス「USER1」だけ登録されている場合です)

**お知らせ** 入力信号と異なる信号で登録したユーザーアドレスを選択すると無信号と判断し、画面がバックカラーで設定された色になります。

## ■ 初期化

エンターボタンを押すことにより表示されているメニューの調整値が工場出荷時の標準値に戻り、メニューの右上に「標準」と表示されます。

使  
い  
か  
た

# ポジションの調整

メニュー画面を出し▲▼ボタン(本体操作部またはリモコン)で項目を選択します。

◀▶ボタンで設定を切り換えます。

バースケールの項目はエンターまたは◀▶ボタンを押して個別調整画面を表示させ

◀▶ボタンで調整します。

RGB/YPbPr/DVI 信号投写時

ポジション	
水平位置	128
垂直位置	64
ドットクロック	34
クロックフェーズ	32
台形補正	1
垂直補正	32
アスペクト	
初期化	
◆ 選択	ENTER 実行
	ESC 終了

S ビデオ / ビデオ信号投写時

ポジション	
水平位置	32
垂直位置	16
ビデオサイズ	32
台形補正	1
垂直補正	32
アスペクト	◀ 4:3 ▶
初期化	
◆ 選択	ENTER 実行
	ESC 終了

## ■ 水平位置

▶ボタンを押すと：画面が右へ移動します。

◀ボタンを押すと：画面が左へ移動します。

## ■ 垂直位置

▶ボタンを押すと：画面が上へ移動します。

◀ボタンを押すと：画面が下へ移動します。

## ■ ビデオサイズ (S ビデオ / ビデオ信号のみ)

▶ボタンを押すと：画像が大きくなります。

◀ボタンを押すと：画像が小さくなります。

## ■ ドットクロック (RGB 信号のみ)

パソコンなどから細かい模様を投写した場合、周期的なしま模様(ノイズ)が発生する場合があります。この場合にしま模様もっとも少なくするように調整してください。

## ■ クロックフェーズ (RGB 信号のみ)

「ドットクロック」調整後にこの調整を行ってください。

◀▶ボタンを押してノイズが目立たないように調整してください。

### お知らせ

UXGA 信号投写時は「ドットクロック」や「クロックフェーズ」を調整してもノイズがなくなる場合があります。

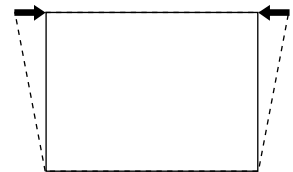
入力信号ごとに調整できます。また調整された状態がメモリー(記憶)されます。

デジタル信号入力時は調整することができません。

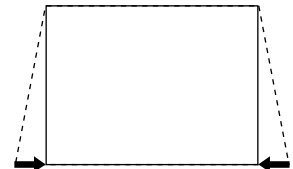
## ■ 台形補正

投写画面が台形歪になっている場合に水平方向のみ台形歪の調整ができます。

▶ボタンを押すと：



◀ボタンを押すと：



### お知らせ

台形歪は本機の前傾きの傾きに対して  $\pm 20^\circ$  まで補正できますが、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるよう設置してください。

台形補正を行なうと画像サイズも変化します。

## ■ 垂直補正

「台形補正」の調整後に◀または▶ボタンでこの調整を行ってください。

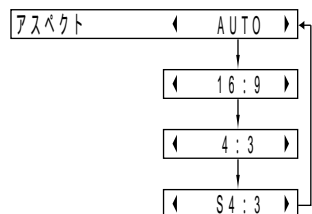
台形補正の調整値が「0」の場合は垂直補正の項目は表示されません。



# ズーム / フォーカスの調整

## ■ アスペクト

Sビデオ / ビデオ信号または YP<sub>B</sub>Pr 信号で NTSC (480i)、480P、PAL (625i) 信号のみ有効です。



「AUTO」:(Sビデオのみ)

Sビデオ端子にS1映像信号が入力されると自動的に16:9の映像投写に切り換わります。

「16:9」:16:9に映像を圧縮して投写します。

「4:3」:入力された信号をそのまま投写します。

「S4:3」:入力された信号のサイズを75%に圧縮して投写します。(16:9スクリーンに4:3映像を投写する場合に有効です)

S1映像信号とは

ワイド対応ビデオデッキなどから出力される検知信号が付加されている16:9の映像信号です。

「AUTO」設定では本機は検知信号を検出し、16:9に自動的に変換して映像を投写します。

**お願い** 入力信号と異なるアスペクト比を選択されますと、オリジナルの映像と見えかたに差がでます。この点にご留意の上、アスペクト比を選択してください。

**お知らせ** 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、アスペクト比切り換え(16:9)を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

ワイド画像でない従来(通常)の4:3の映像をワイド画面で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、4:3の映像でご覧ください。

## ■ 初期化

エンターボタンを押すことにより表示されているメニューの調整値が工場出荷時の標準値に戻り、メニューの右上に「標準」と表示されます。

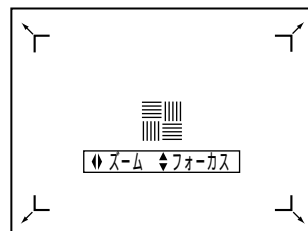
## ■ ズーム

投写画像の画面サイズを調整します。

▶ボタンを押すと:画面サイズが大きくなります。

◀ボタンを押すと:画面サイズが小さくなります。

画面サイズが最大または最小になると四隅に表示の矢印が水色から赤色に変わります。



## ■ フォーカス

▲▼ボタンを押して映像の焦点を調整します。

# 表示言語の切り換え

メニュー画面を出して▲▼ボタン(本体操作部またはリモコン)で言語を選択します。

エンター(ENTER)ボタンで決定します。切り換えた言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などが表示されます。

英語(ENGLISH)、ドイツ語(DEUTSCH)、フランス語(FRANÇAIS)、スペイン語(ESPAÑOL)、イタリア語(ITALIANO)、中国語(中文)、日本語の切り換えができます。

現在設定されている言語を表示します。



**お知らせ** 本機は、日本語でオンスクリーン表示するように設定されています。(工場出荷時)

使  
い  
か  
た

# オプション 1 の設定

メニュー画面を出して▲▼ボタン(本体操作部またはリモコン)で項目を選択します。

◀▶ボタンで設定を切り換えます。

オプション1	
OSD表示	オフ <b>オン</b>
RGBフォーマット	◀ Y・PB・PR ▶
レンズシフト	◀ ◀ ▶ ▶ ▶
バックカラー	◀ ブラック ▶
投写方式1	◀ フロント ▶
投写方式2	◀ フロア ▶
▼ 選択	↕ 調整
[ESC] 終了	

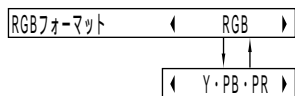
## ■ OSD 表示

「オン」: 入力信号切り換え時に信号名の表示を画面右上に表示します。

「オフ」: 信号名を表示させたくない場合に設定します。

## ■ RGB フォーマット

HDTV (1080i) 信号がRGB1 またはRGB2 の入力端子に入力された時のみ、信号に合わせて切り換えができます。



## ■ レンズシフト

本機が手の届かないところにある場合に投写画像を上下に移動したいときに使うと便利です。



▶ボタンを押すと: 投写画面位置が上へ移動します。

◀ボタンを押すと: 投写画面位置が下へ移動します。

**お知らせ** 天吊りの状態では◀▶ボタンを押すと投写画面位置が逆の方向に移動します。

## ■ バックカラー

本体の入力端子に接続されていない場合や、接続した機器から信号が入力されていない場合にバック画面の色を設定します。



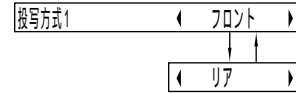
「ブルー」: 青色の画面色にします。

「ブラック」: 黒色の画面色にします。

**お知らせ** 判別不可の信号が入力された場合は無信号として扱われ設定画面色になります。

## ■ 投写方式 1

本体の設置方法に合わせて切り換えます。

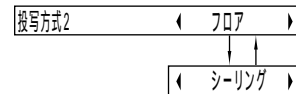


「フロント」: 反射式スクリーンを使用してスクリーンの前方に本機を設置する場合。

「リア」 : 透過式スクリーンを使用してスクリーンの後方に本機を設置する場合。

## ■ 投写方式 2

本体の設置方法に合わせて切り換えます。



「フロア」 : 机の上などに設置する場合。

「シーリング」: 天井などに天つり金具(別売品)を利用して設置する場合。

# オプション 2 の設定

メニュー画面を出して▲▼ボタン（本体操作部またはリモコン）で項目を選択します。

◀▶ボタンで設定を切り換えます。

オプション2	
ランプパワー	高
ランプ選択	デュアル
ランプ時間	1 11時間
FUNC1設定	標準
セットID	オール
ユーザーモード	
▼ 選択	↔ 調整

## ■ ランプパワー

本体の使用環境や目的に合わせてランプの明るさを切り換えることができます。



「高」：標準よりも高い輝度が必要なときに設定します。

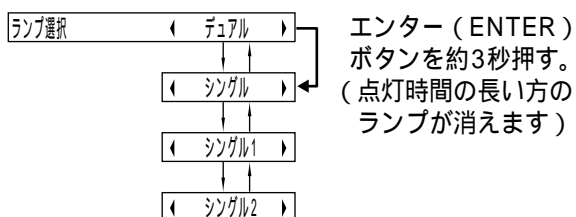
「標準」：通常に使用するとき設定します。

**お知らせ** 狭い会議室など高い輝度を必要としない場合は「標準」に設定されることをおすすめします。電力の節約、ランプの寿命を延ばすことができます。

## ■ ランプ選択

本体に内蔵されている2個の光源ランプを使用条件や目的に合わせ「デュアル」と「シングル」の明るさに切り換えができます。

また「シングル」ではランプの自動切り換えと2灯のうちどちらか1灯を点灯する設定ができます。



「デュアル」：2灯が点灯します。

「シングル」：1灯が点灯します。

（使用時間の短いランプを自動選択します）

「シングル1」：1灯が点灯します。

（ランプユニット1が常に点灯します）

「シングル2」：1灯が点灯します。

（ランプユニット2が常に点灯します）

**お願い** 「シングル」、「シングル1」、「シングル2」、「デュアル」に切り換えるには、必ず電源を入れ直してください。画面上で設定が終わってもその設定は有効になりません。

電源を切らずに切り換えできます。

**お知らせ** 「シングル1」、「シングル2」のとき、現在点灯中のランプ積算時間が2000時間を超えると、もう一方の積算時間が2000時間に満たないランプが点灯します。

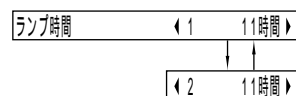
「デュアル」、「シングル」および「シングル1」、「シングル2」のとき、もう一方のランプ積算時間が2000時間を超えていると、本機は10分後にスタンバイ状態になります。

1灯のランプのみしか装着されていない場合は、「シングル1」または「シングル2」に設定してください。

「シングル1」または「シングル2」に設定され、対応するランプユニットが装着されていない場合はもう一方のランプが点灯します。また「シングル」に設定されているとランプが点灯するまで約90秒かかることがあります。

## ■ ランプ時間

本体に内蔵されている2個の光源ランプの使用時間を確認することができます。



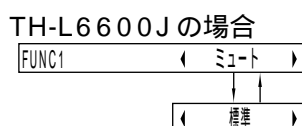
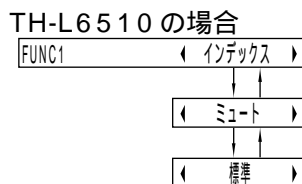
「1」：ランプ1の使用時間を表示します。

「2」：ランプ2の使用時間を表示します。

**お知らせ** 使用時間が1800時間を超えると時間表示が赤色に点滅します。

## ■ FUNC1 の設定

本体リモコンのFUNC1ボタンの機能を設定します。（TH-L6510とTH-L6600JではFUNC1の設定が異なります。）



「インデックス」：静止画と動画の2画面表示することができます。

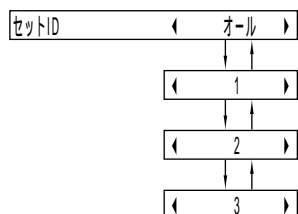
（メインメニュー内の「インデックスダブル」機能と同じです）

「ミュート」：音声を一時的に消すことができます。

「標準」：表示されているメニューの調整値が工場出荷時に戻りメニューの右上に「標準」と表示されます。

## ■ セットの ID 設定

本機を複数台並べてご使用になる場合は1つのリモコンで同時制御や個別制御することができます。



- 「オール」: ID ナンバーに関係なくすべてのリモコンで本機を操作することができます。
- 「1」 : ID ナンバー「1」に設定したリモコンで本機を操作することができます。
- 「2」 : ID ナンバー「2」に設定したリモコンで本機を操作することができます。
- 「3」 : ID ナンバー「3」に設定したリモコンで本機を操作することができます。

**お知らせ** 工場出荷時は「オール」に設定されていますので 1 台だけのご使用の場合は ID ナンバーの設定の必要はありません。ID ナンバーを設定した場合はリモコンの ID ナンバーを本体の ID ナンバーに合わせる必要があります。本体を複数台並べて設置して ID ナンバー「オール」に設定していると、他の ID ナンバーを設置した本機と分けて個別制御することができなくなります。本体とリモコン本体の ID ナンバーの設定を合わせないとリモコンで電源 (POWER) を入れることができません。リモコンの ID 設定のしかたは 15 ページをご参照ください。

## ■ ユーザーモードに登録・削除・表示する

(RGB/YPbPr 信号のみ)

ユーザーモードに調整データを登録すれば、一度登録した調整データを簡単に呼び出すことができ、電源を入れるたびに調整する必要がなくなります。

### ユーザーモードの登録

- [例] USER1 にポジションデータを登録する場合  
登録したい信号を入力し、ポジション調整を行ない、画像の位置やサイズなどを調整する。  
オプション 2 のユーザーモードを選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す。



◀▶ボタンで USER1 を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す。

**お知らせ** ユーザーアドレスは USER1 から USER3 まであります。

USER1 アドレス表示が点滅するので、もう一度エンター (ENTER) ボタンを押す。  
以上で USER1 アドレスに上記調整データが登録されました。同様の操作で USER2 ~ USER3 アドレスにも登録できます。

### ユーザーモードの削除

- [例] USER1 データの登録を削除したい場合  
オプション 2 のユーザーモードを選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す。  
▲▼ボタンで「削除」を選択する。  
◀▶ボタンで削除したいアドレス (USER1) を選択し、エンター (ENTER) ボタンを押す。



アドレス表示が点滅するので、もう一度エンター (ENTER) ボタンを押すと削除されます。

### ユーザーモードで表示させる

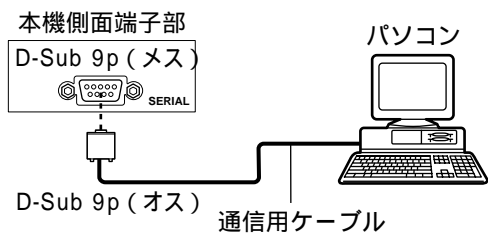
31 ページの「表示モード」の項に記載の手順でユーザーモードに切り換えると、ユーザー登録番号が確認できます。

# シリアル端子を使う

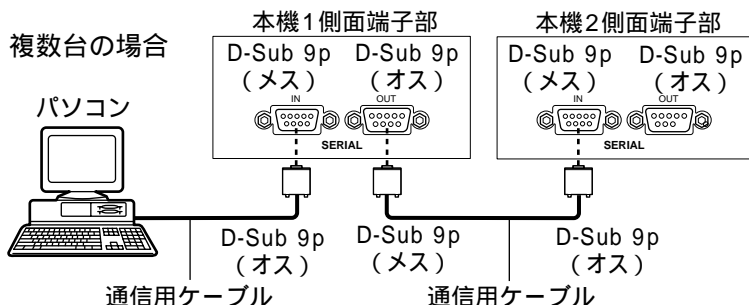
本体側面端子部のシリアル ( SERIAL ) 端子は RS-232C 準拠のためパソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。シリアル出力端子を設けていますので本体の複数制御が可能です。

## ■ 接続例

一台の場合

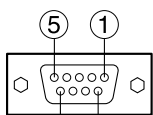


複数台の場合



## ■ ピン配列と信号名

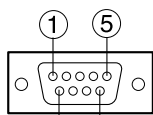
D-Sub 9p (メス)  
外側から見た図



シリアル入力端子

ピンNo.	信号名	内容
①		NC
②	TXD	送信データ
③	RXD	受信データ
④		内部で接続されています
⑤	GND	グラウンド
⑥		NC
⑦	CTS	内部で接続されています
⑧	RTS	
⑨		NC

D-Sub 9p (オス)  
外側から見た図



シリアル出力端子

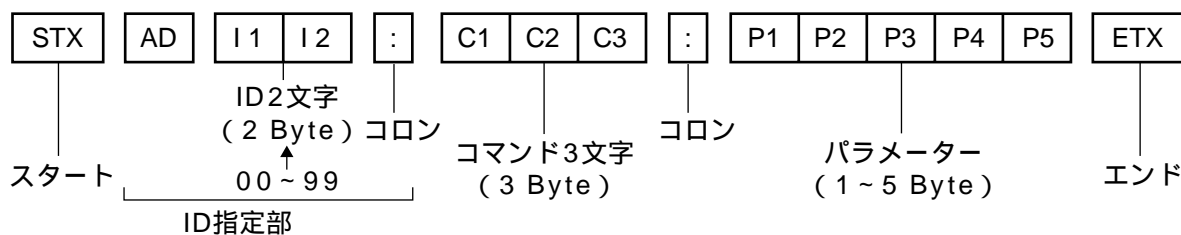
ピンNo.	信号名	内容
①		NC
②	RXD	受信データ
③	TXD	送信データ
④		NC
⑤	GND	グラウンド
⑥		NC
⑦	RTS	内部で接続されています
⑧	CTS	
⑨		NC

## ■ 通信条件

信号レベル	RS-232C準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600bps
パリティ	なし
キャラクター長	8ビット
ストップビット	1ビット
Xパラメーター	なし
Sパラメーター	なし

## ■ 基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いて ID、コマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



### お願い

ランプ点灯開始時、約 10 秒間はコマンドを送受信できませんので、10 秒経過後必ず送受信してください (TH-L6600J/TH-L6600JL のみ)

複数のコマンドを送信する場合は必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン ( : ) は必要ありません。

ID 指定が必要のない場合、ID 指定部を除いたフォーマットで送信してください。

### お知らせ

間違ったコマンドを送信すると、本機から “ER401” というコマンドがパソコン側に送信されます。リモート端子を使用して外部制御を行うと、シリアル端子からのコマンドを受け付けなくなります。

RS-232C での ID 送信は 0 (オール) から 99 までの対応になっています。

(リモコンの ID は 0 (オール) ~ 3 の設定ができます)

ID 指定でコマンドを送信した場合、本機 ID と一致した場合、本機 ID がオールの時のみパソコンへの応答を返します。

応  
用

## ■ 制御コマンド

パソコンで本機を制御する際のコマンドは下表のとおりです。

コマンド	制御内容	備考
PON	電源「入」	スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。 ・ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。 ・ランプ消灯後、冷却ファン動作中に「PON」コマンドを送信した場合、ランプの保護のため、消灯後TH-L6510は約95秒、TH-L6600Jは約40秒経過しないと点灯制御を開始しません。
POF	電源「切」	
AVL	音量	パラメーター 000 = 調整値 0 ⋮ 063 = 調整値 63
AMT	音声ミュート	パラメーター 0 = 音声ミュート オフ 1 = 音声ミュート オン
IIS	入力切り換え	パラメーター VID = VIDEO      SVD = S-VIDEO RG1 = RGB1      RG2 = RGB2      DVI = DVI
ORF	RGB1・2入力信号切り換え	0 = RGB      1 = YPBPr      (ただし、1080i入力時のみ)
Q\$S	ランプ点灯状態 問い合わせ	パラメーター 0 = スタンバイ 1 = ランプ点灯制御中 2 = ランプ点灯 3 = ランプ消灯制御中
QLS	ランプ点灯確認 問い合わせ	パラメーター 0 = ランプ1、2共にオフ 1 = ランプ1のみオン 2 = ランプ2のみオン 3 = ランプ1、2共にオン
OSI	SET ID	パラメーター 0 (オール) ~ 99

## ■ ケーブル仕様

《パソコンと接続する場合》

本機側		パソコン側 (DTE仕様)	
1	NC	NC	1
2			2
3			3
4	NC	NC	4
5			5
6	NC	NC	6
7			7
8			8
9	NC	NC	9

**お願い** シリアル (SERIAL) 端子とパソコンをつなぐ通信ケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

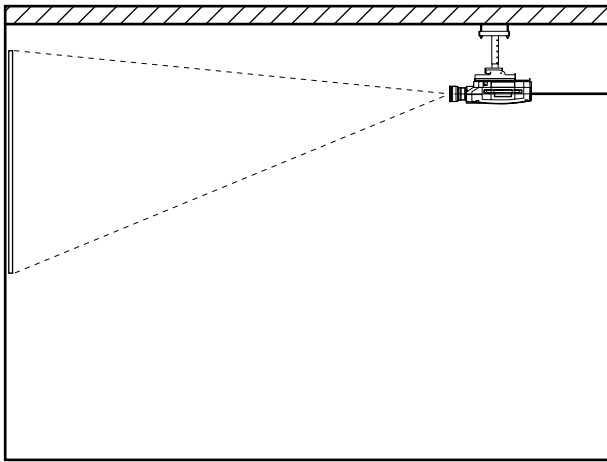
## ■ USBでの制御について

USBを使用してRS-232Cと同様の制御を行なうことができますが、別途デバイスドライバと制御ソフトが必要になります。

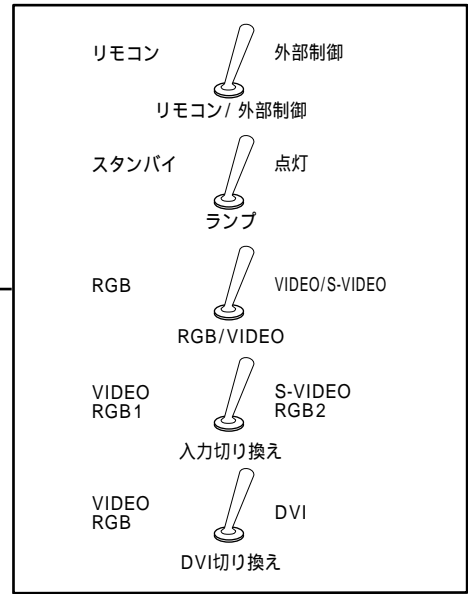
# リモート端子を使う

本体側面端子部のリモート（REMOTE）端子を使用することで、設置場所から離れたリモコンの信号が届かない場所にある制御盤などから、本体を遠隔制御することができます。

設置例



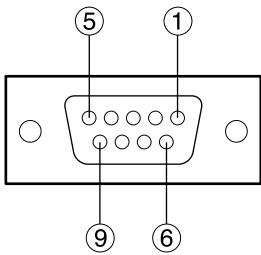
会議室などの設置場所



別の場所にある遠隔制御盤

## ピン配列と制御内容について

制御を行う場合は必ず、①番ピンと⑨番ピンは短絡させてください。



D-Sub 9p（メス）  
外側から見た図

ピン番号	名称	内容	
		①番と短絡	開放
⑨	リモコン/外部制御	外部制御	リモコン
②	ランプ点灯	点灯	消灯（スタンバイ）
③	RGB/VIDEO	VIDEO	RGB
⑤	入力切り換え	S-VIDEO（③がVIDEOのとき）	VIDEO（③がVIDEOのとき）
		RGB2（③がRGBのとき）	RGB1（③がRGBのとき）
⑥	DVI切り換え	DVI（③がRGBのとき）	VIDEO（③がVIDEOのとき）
			RGB（③がRGBのとき）

### お知らせ

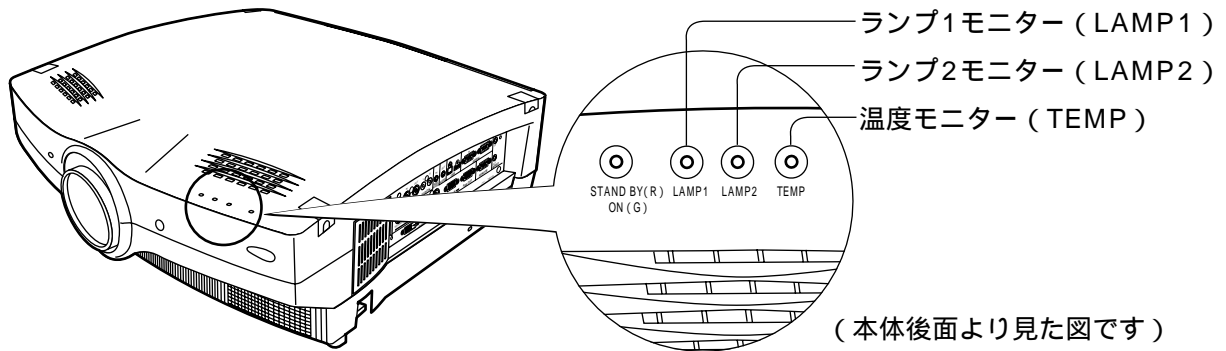
①番、⑨番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの電源（POWER）ボタン、RGB ボタン、ビデオ（VIDEO）ボタンが使用できなくなります。また、これらのボタンに相当するRS-232C 用コマンドも使用できなくなります。




⑨番ピンを開放したまま、①、②、③、⑤、⑥番ピンを短絡させないでください。この設定を行うと、本体はリモコンからの信号を一切受け付けなくなります。

応  
用

# ランプモニターの表示について

本体前面上部には、ランプの交換時期、内部温度の異常を知らせる3つのモニターランプがついています。これらのランプは異常等を点滅や点灯で表示します。電源を切り下記の処置をしてください。



ランプモニター名	ランプ表示	現象	ここをお調べください	処置のしかた
温度モニター   TEMP	赤色点滅 (ランプユニット点灯) (TH-L6510の場合)	内部が異常に高温になっている または急激な温度変化が生じている	<ul style="list-style-type: none"> <li>通風孔がふさがれていませんか</li> <li>気温の高いところで使用していませんか</li> <li>エアフィルターがめづまりしていませんか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通風孔をふさいでいるものを取り除いてください。</li> <li>周囲温度0℃～40℃、周囲湿度20%～80% (非結露) の場所に設置してください。</li> <li>23ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、エアフィルターの掃除 (41ページ参照) を行ってください。</li> </ul>
	赤色点灯 (ランプユニット点灯)	周囲温度または内部が高温になっている		
	赤色点滅 (ランプユニット消灯)	周囲温度または内部が異常に高温なためランプユニットが自動的に消灯 (スタンバイ状態になっている)		
	赤色点灯 (ランプユニット消灯) (TH-L6600Jの場合)	内部が異常に高温になったため、及び急激な温度変化が生じたため、ランプユニットが自動的に消灯 (スタンバイ状態になっている)		
ランプモニター   LAMP1  LAMP2	赤色点灯	ランプユニットの交換時期を表示している	本機の電源を入れた時に「ランプ交換」というオンスクリーン表示がされていませんか	ランプユニットの使用時間が1800時間に達すると点灯します。ランプユニットの交換を販売店にご依頼ください。
	赤色点滅	ランプ回路の異常を検知している	電源を切ったからすぐに電源を入れなおしていませんか ランプ回路に異常が発生しています	光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。 23ページの手順で主電源 (MAIN POWER) スイッチを切り、販売店にご相談ください。

**お願い**

温度モニター (TEMP) ランプ、ランプモニター (LAMP) ランプの表示により処置を行うときの電源操作は23ページの「電源の「入」「切」のしかた」の手順を必ずお守りください。温度モニター (TEMP) ランプ点滅後、主電源 (MAIN POWER) スイッチが切れた場合は、内部に異常が発生しています。販売店に修理をご依頼ください。



# エアークフィルターの清掃と交換

エアークフィルターにほこりがたまり過ぎると、本体内部温度が高温になり、TH-L6510の場合は温度モニター（TEMP）ランプが点滅し、TH-L6600Jの場合は温度モニター（TEMP）ランプが点滅し、光源ランプが消灯します。使用場所により異なりますが、エアークフィルター部の清掃は約100時間を目安に行ってください。

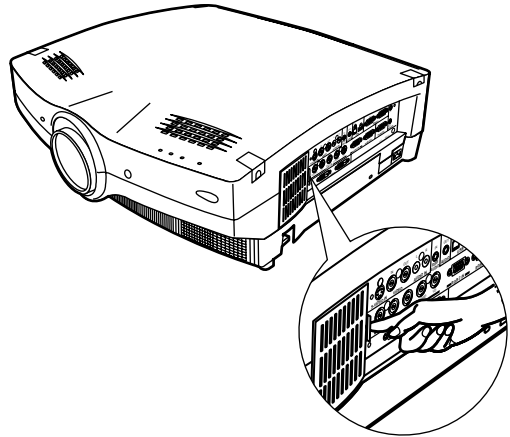
## ■ 清掃手順

主電源を切り電源プラグをコンセントから抜く。

23ページの「電源の切りかた」の手順を守り、電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

エアークフィルターカバーを外す。

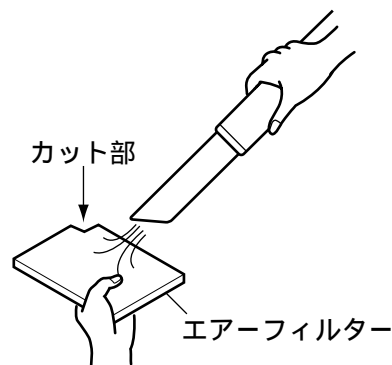
エアークフィルターカバーのツメを指で押し、手前へ引っ張りながら本体から外します。



エアークフィルターを掃除する。

たまったほこりを掃除機で吸い取ります。

**お願い** エアークフィルターを吸い込まないようにご注意ください。



エアークフィルターとエアークフィルターカバーを取り付ける。

エアークフィルターカバーの内側にエアークフィルターをセットして、と逆の方法でフィルターカバーを取り付けます。

**お願い** カット部が右上方向になるように取り付けてください。  
エアークフィルターカバーは必ず取り付けてご使用ください。  
エアークフィルターカバーを取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

**お知らせ** 掃除をしてもほこりがとれなくなったらエアークフィルターの交換時期です。販売店にご相談ください。また、ランプユニットの交換の際は、あわせてエアークフィルターも交換してください。

その他

# ランプユニットの交換

ご販売店様へ

## ⚠ 注意



ランプユニットの交換は、サービス技術者にご依頼ください

## ⚠ 注意



ランプユニットの交換は、ランプが十分に冷えてから行ってください。触るとやけどの原因になります。

### ランプユニット交換上のおお願い

光源ランプは内部気圧が高く、堅い物に当てたり、落下させると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。

取り外した古いランプユニットは、乱雑に取り扱うと破裂する場合があります。

処分は産業廃棄物処理業者にご依頼ください。

ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。ドライバー使用時は手をすべらせないようにご注意ください。

**お願い** ランプユニットは別売部品です。販売店にご相談ください。(サービス部品扱い)

プロジェクター品番	適用ランプユニット品番
TH-L6510	ET-LAL6510 (1灯)・ET-LAL6510W (2灯)
TH-L6600J	

定格 220 W 65 V

上記以外のランプを使用することはできません。必ず指定のランプを使用してください。

## ■ ランプユニットの交換時期

光源として使用しているランプには、寿命があります。本体に使用している光源ランプの寿命は2000時間(ランプパワー...高、ランプ選択...デュアル設定時)ですが、ランプ個々の特性や使用条件(ランプは点灯回数や再点灯までの間隔等の影響を受け寿命を低下させる恐れがあります)により、2000時間前に点灯しなくなる場合がありますので、交換用ランプの準備をおすすめします。

1800時間を過ぎてもランプユニットが交換されない場合には2000時間で自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。2000時間以降は、電源を入れても約10分間で自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。

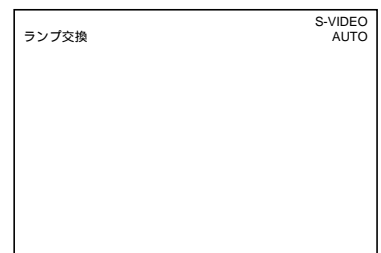
**お知らせ** 2000時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については49ページや保証書をご覧ください。

### ● 1800時間以降の表示

ランプユニットの使用時間が1800時間に達するとランプモニター(LAMP1またはLAMP2)が、スタンバイ状態も含めて点灯します。

また、右図のようなランプユニットの交換を促すオンスクリーンを約30秒表示します。(右図の表示は約30秒経過または本体後面操作ボタン、リモコンのボタンのいずれかを操作すると消えます。)

このオンスクリーン表示は2000時間に達すると、以降はメニュー(MENU)ボタン、音量調整(VOL + / -)ボタンなどを操作しない限り消えません。



## ■ ランプユニットの交換手順

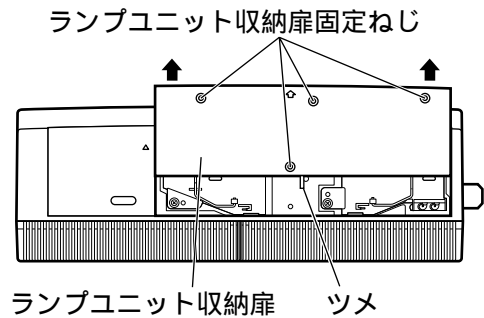
**お願い** ランプユニットの交換を2000時間を過ぎてから行った場合は、電源を入れてから約10分間のみ本機を動作させることができます。手順( ~ )の操作を10分以内に行ってください。

23ページの電源の「入」「切」のしかた の手順を守り、主電源を切ったあと、コンセントから電源プラグを抜き、ランプユニット近辺が冷えていることを確認する。

本体裏面のランプユニット収納扉固定ねじ(4本)をプラスドライバーを使って取りはずす。

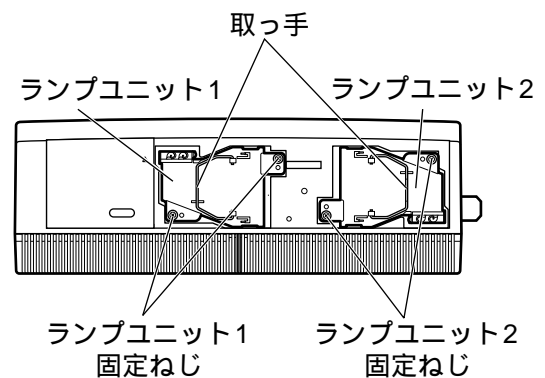
ランプユニット収納扉を上方向に持ち上げ、収納扉を本機から取り外す。

**お願い** ランプユニット収納扉下部中央のツメが折れないように取り扱ってください。



取り換えたいランプユニット固定ねじ(2本)をプラスドライバーで空回りするまで回す。

ランプユニットの取っ手を起こして、ゆっくりと本機から引き出す。



### ⚠ 注意



高温注意

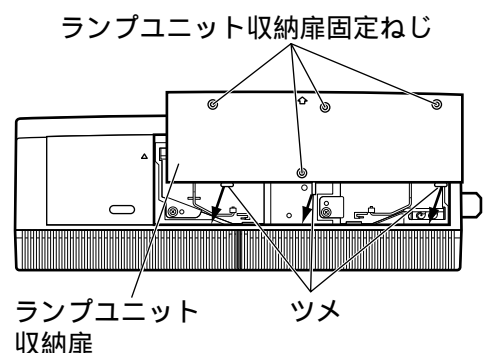
使用直後のランプユニットは高温なので注意する  
触るとやけどの原因になります。

新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込む。

ランプユニット固定ねじ(2本)をプラスドライバーでしっかりと締めつける。

ランプ収納扉の下部のツメを本機の穴に挿入して取り付け、ランプユニット収納扉固定ねじ(4本)をプラスドライバーでしっかりと締めつける。

**お願い** ランプユニットや、ランプユニット収納扉は確実に取り付けてください。ランプユニットやランプ収納扉の取り付けが不完全だと、保護回路が動作し電源が入りません。



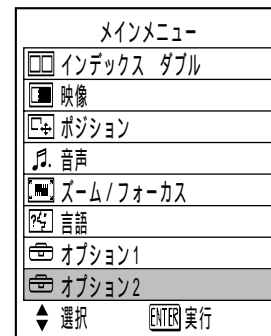
その他

電源プラグをコンセントに差し込み、主電源（MAIN POWER）スイッチを入れる。

**お願い** 主電源（MAIN POWER）スイッチを「|」側にしても電源が入らない場合は、一度、主電源（MAIN POWER）スイッチを「O」側にし、ランプユニットや収納扉の取り付けを確認後、再度「|」側にしてください。

電源（POWER）ボタンを押し映像投写を開始する。

メニュー（MENU）ボタンを押し、「メインメニュー」画面を表示させ▲▼ボタンで「オプション2」の項へ移動する。



エンター（ENTER）ボタンを押し「オプション2」画面を表示した後、▲▼ボタンで「ランプ時間」の項へ移動する。

本体またはリモコンのエンター（ENTER）ボタンを約3秒間押し続ける。

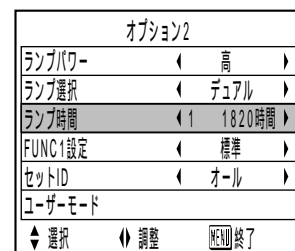
「ランプ時間」が「L1 リセット [ POWER OFF ]」または「L2 リセット [ POWER OFF ]」の表示に変わります。

**お知らせ** メニュー（MENU）ボタンを押せば、ランプタイムリセットの設定画面が解除できます。

▲▼ボタンを押して、交換したランプに合わせて設定を切り換える。

- L1 リセット : LAMP1 を交換したとき
- L2 リセット : LAMP2 を交換したとき
- L1+L2 リセット : LAMP1 と LAMP2 の両方を交換したとき

電源（POWER）ボタンを押して電源をOFFにする。  
指定したランプユニットの積算時間が0にリセットされます。



# 修理を依頼される前に...もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源コードがコンセントにしっかり差し込まれていますか。</li> <li>・主電源 (MAIN POWER) スイッチが「O」側になっていませんか。</li> <li>・コンセントに電源がきていますか。</li> <li>・本機前面の温度モニター (TEMP) ランプが点灯または点滅していませんか。(40 ページ参照)</li> <li>・本機前面のランプモニター (LAMP) ランプが点灯または点滅していませんか。(40 ページ参照)</li> <li>・ランプユニット収納扉は完全に取り付けられていますか。</li> <li>・ID 設定の操作を間違えていませんか。(15、36 ページ参照)</li> </ul>
映像がでない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンズキャップがかぶさったままではありませんか。</li> <li>・映像入力は正しく接続されていますか。</li> <li>・入力切り換えの設定が正しくなっていますか。(23 ページ参照)</li> <li>・黒レベル調整が最小になっていませんか。(30 ページ参照)</li> <li>・本機に接続している機器は正常に動作していますか。</li> <li>・シャッター機能を使用していませんか。(25 ページ参照)</li> </ul>
映像がボヤけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンズのフォーカスは合っていますか。(23 ページ参照)</li> <li>・投写距離は適切ですか。(18 ページ参照)</li> <li>・レンズが汚れていませんか。</li> <li>・本機がスクリーンに対して直角に設置されていますか。(18 ページ参照)</li> </ul>
色が薄い/色あいが悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。(30 ページ参照)</li> <li>・本機に接続している機器は正しく調整されていますか。</li> </ul>
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声入力は正しく接続されていますか。</li> <li>・音量調整が最小になっていませんか。(23、27 ページ参照)</li> <li>・シャッターまたは音声ミュートに設定していませんか。(25、35 ページ参照)</li> <li>・音声入力 (AUDIO OUT) 端子にケーブルが接続されていませんか。</li> </ul>
リモコンが働かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乾電池が消耗していませんか。</li> <li>・極性は正しくセットされていますか。(14 ページ参照)</li> <li>・リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。(14 ページ参照)</li> <li>・リモコン有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。(14 ページ参照)</li> <li>・リモート (REMOTE) 端子を使って外部制御を行っていませんか。(39 ページ参照)</li> <li>・外光などの影響をうけていませんか。</li> <li>・ID 設定の操作を間違えていませんか。(15、36 ページ参照)</li> </ul>
正常な映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入力切り換えが正しく行われていますか。(23 ページ参照)</li> <li>・信号方式 (TV システム) の選択は正しく行われていますか。(31 ページ参照)</li> <li>・ビデオテープ等ソース側に異常はありませんか。</li> <li>・本機が対応できない信号を入力していませんか。(48 ページ参照)</li> </ul>
パソコンからの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケーブルが長すぎませんか。</li> <li>・ノートパソコンの映像信号出力先が正しく設定されていますか。 Fn+F3 キーで設定します。(詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照ください)</li> </ul>

その他

# 仕様

品番	TH-L6510 (XGA)	TH-L6600J (SXGA)	
使用電源	AC100 V 50 Hz / 60 Hz		
消費電力	600 W (スタンバイ時 約9 W ただし、ファン停止時)		
液晶パネル	パネルサイズ	1.3型 (アスペクト比 4 : 3) マイクロレンズアレイ付き	
	表示方式	透過型液晶パネル3枚 3原色方式	
駆動方式	アクティブマトリクス方式		
画素数	786 432画素 (1 024 × 768ドット) × 3枚	1 398 784画素 (1 366 × 1 024ドット) × 3枚	
レンズ	電動ズーム	1 ~ 1.3	
	電動フォーカスレンズ	F=1.7 ~ 2.3 f=49.1 ~ 63.8	
光源ランプ	220 W UHMランプ × 2灯		
光出力	4 200 lm (ANSI)	3 600 lm (ANSI)	
対応走査周波数	ビデオ信号 (Sビデオ時)	水平 15.74 kHz / 15.63 kHz 垂直 50 Hz / 60 Hz	
	RGB信号時	水平 24 kHz ~ 97 kHz 垂直 50 Hz ~ 120 Hz PIAS (Panasonic Intelligent Auto Scanning) 方式	
	DVI-D信号時	ドットクロック周波数 135 MHz以下	ドットクロック周波数 162 MHz以下
	YPbPr信号時	VGA60、S-VGA60、XGA60、S-XGA60	
YPbPr信号	[480i] 水平 15.75 kHz 垂直 60 Hz [625i] 水平 15.63 kHz 垂直 50 Hz [480p] 水平 31.5 kHz 垂直 60 Hz [720p] 水平 45 kHz 垂直 60 Hz [1035i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz [1080i] 水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz		
YPbPr信号	480i、480p、PAL (625i)、720p、1 035i、1 080i		
カラー方式	6方式 (NTSC / NTSC4.43 / PAL / PAL-N / PAL-M / SECAM)		
投写画面サイズ	30型 ~ 300型		
投写距離	1.4 m ~ 13.2 m		
光軸シフト量	10 : 10 ~ 1 : 19		
画面アスペクト比	4 : 3 (SXGA時 5 : 4)		
投写方式	フロント / リア / 天吊り / 床置き (メニュー設定方式)		
スピーカー	4 cm × 7 cm だ円型2コ		
音声実用最大出力	6 W (3 W + 3 W)		
接続端子	DVI-D入出力端子	各1系統 DVI-D 24ピン	
	RGB1入力端子	1系統 BNC × 5 [YPbPr入力時] Y : 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、PbPr : 0.7 V [p-p] 75 [RGB入力時] 0.7 V [p-p] 75 G-SYNC時 1.0 V [p-p] 75 HD / SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応	

接	RGB2入力端子	1系統 高密度 D-sub 15p (メス) [ YP <sub>B</sub> PR <sub>R</sub> 入力時 ] Y : 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、P <sub>B</sub> PR : 0.7 V [p-p] 75 [ RGB入力時 ] 0.7 V [p-p] 75 G-SYNC時 1.0 V [p-p] 75 HD / SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応
	RGB1/2用 音声入力端子	1系統 ステレオミニピンジャック 0.5 V [rms]
	ビデオ入出力端子	1系統 BNC 1.0 V [p-p] 75
	Sビデオ入力端子	1系統 Mini DIN 4p Y 1.0 V [p-p] C 0.286 V [p-p] 75
	ビデオ/Sビデオ用 音声入力端子	1系統 RCAピンジャック × 2 (L - R) 0.5 V [rms]
	音声出力端子	1系統 ステレオミニピンジャック (モニター出力、ステレオ対応可) 0 V [rms] ~ 2.0 V [rms] (可変)
端	RGB出力端子	1系統 高密度 D-sub 15p (メス) [ YP <sub>B</sub> PR <sub>R</sub> 出力時 ] Y : 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、P <sub>B</sub> PR : 0.7 V [p-p] 75 [ RGB出力時 ] 0.7 V [p-p] 75 G-SYNC時 1.0 V [p-p] 75 HD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性
	シリアル入出力端子	D-sub 9p (メス) RS-232C 準拠 パソコン制御用
	リモート入出力端子	D-sub 9p (メス) 外部制御用
	ワイヤード入力端子	M3ピンジャック 各1系統 ワイヤードリモコン、連結制御用
	USB入力端子	角形4p タイプB ワイヤレスマウス用
子	USB出力端子	タイプA 連結制御用 最大5 V / 0.5 A
電源コードの長さ		2.5 m
キャビネット		樹脂成形品
外形寸法		横幅 : 495 mm 高さ : 179 mm 奥行 : 495 mm
質量		13.8 kg
使用環境条件		使用周囲温度 : 0 ~ 40 使用周囲湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)
リ モ コ ン	使用電源	DC 3 V (単4形乾電池 2コ)
	操作距離	約7 m (受光部正面)
	質量	108 g (乾電池含む)
	外形寸法	横幅 : 33 mm 厚さ : 40 mm 奥行 : 168 mm

本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。  
( This LCD Projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

その他

# 付録

## 入力可能な RGB/YP<sub>B</sub>Pr 信号

本機に入力できる RGB/YP<sub>B</sub>Pr 信号は下表のとおりです。

下表と大幅に異なる信号を入力した場合、正常な映像を表示しなかったり、ブルーバック（またはブラックバック）画面になります。

表示モード	入力可能信号データ		
	表示ドット数	水平走査周波数 (kHz)	垂直走査周波数 (Hz)
VGA400	640 × 400	24.8	56.4
	640 × 400	31.5	70.1
VGA480	640 × 480	31.5	59.9
	640 × 480	35.0	66.7
	640 × 480	37.9	72.8
	640 × 480	37.5	75.0
	640 × 480	43.3	85.0
SVGA	800 × 600	32.1	51.0
	800 × 600	35.2	56.3
	800 × 600	37.9	60.3
	800 × 600	48.1	72.1
	800 × 600	46.9	75.0
	800 × 600	53.7	85.1
XGA	1 024 × 768	48.4	60.0
	1 024 × 768	56.5	70.1
	1 024 × 768	60.0	75.0
	1 024 × 768	65.5	81.6
	1 024 × 768	68.7	85.0
	1 024 × 768i	35.5	86.8
	1 024 × 768	80.7	100.8
	1 024 × 768	94.0	120.0
MXGA	1 152 × 864	63.9	70.0
	1 152 × 864	67.5	75.0
	1 152 × 864	77.1	85.0
	1 120 × 750	50.1	60.1
	1 120 × 750i	32.6	80.0
SXGA	1 280 × 1 024	52.4	50.0
	1 280 × 1 024	64.0	60.0
	1 280 × 1 024	72.4	66.3
	1 280 × 1 024	78.2	71.7
	1 280 × 1 024	80.0	75.0
	1 280 × 1 024	91.2	85.0
	1 280 × 1 024i	46.2	86.0
	1 280 × 1 024i	47.6	88.9
UXGA	1 600 × 1 200	75.0	60.0
	1 600 × 1 200	87.5	70.0
	1 600 × 1 200	93.8	75.0
MAC16	832 × 624	49.7	74.6
MAC21	1 152 × 870	68.6	75.0
HDTV	1 920 × 1 035i	33.8	60.0
720p	1 280 × 720	45.0	60.0
NTSC	768 × 480i	15.7	59.9
PAL	768 × 576i	15.6	50.0
480p	720 × 483	31.5	59.9

**お知らせ** TH-L6600J の表示ドット数は 1 366 × 1 024 です。上記データで表示ドット数が越えるものは 1 366 × 1 024 ドットに変換されて表示します。

TH-L6510 の表示ドット数は 1 024 × 768 です。上記データで表示ドット数が越えるものは 1 024 × 768 に変換されて表示します。

表示ドット数の後ろの「i」はインターレース信号を意味します。

は TH-L6600J のみです。



# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## 1. 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

## 2. 保証期間

お買い上げ日から本体 1 年間。  
ただし光源ランプは 6 ヶ月または 600 時間の早い方

## 3. 修理を依頼されるとき

45 ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

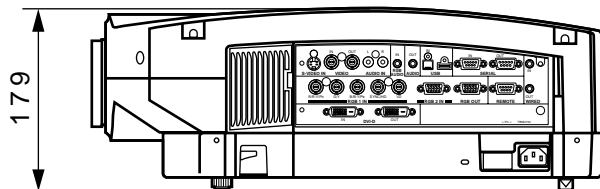
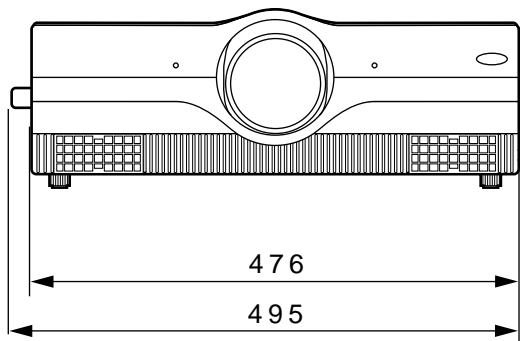
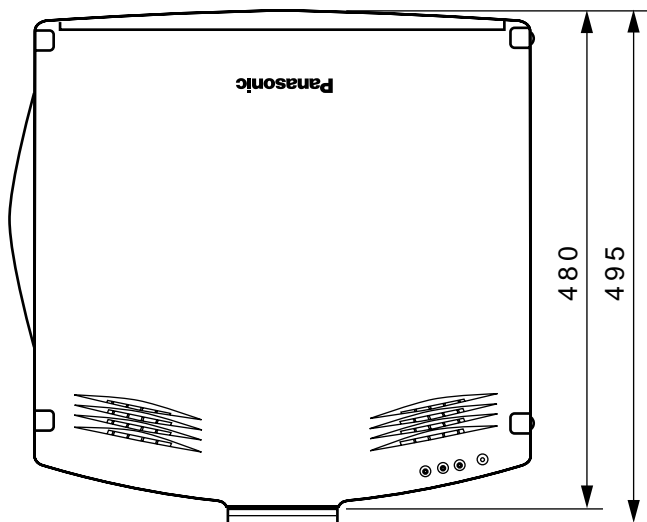
- 保証期間中は  
保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。
- 保証期間中を過ぎているときは  
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。  
ただし、本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。  
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理料金の仕組み  
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。  
**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。  
**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。  
**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容	
ご 氏 名	
ご 住 所	付近の見取図、目印など。
電 話 番 号	呼び出しでもけっこうです。
製 品 名・品 番 お 買 い 上 げ 日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	ランプモニター点灯状況を含め、詳しくお願いします。
ご訪問ご希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

その他

# 外形寸法図

単位：mm



**商標について**

PS/2、VGA、XGAは米国 International Business Machines Corporation の商標です。

Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

PC-98 は日本電気（株）の商標です。

S-VGA は Video Electronics Standards Association の商標または登録商標です。

Windows はマイクロソフト社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

**注意**

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) 2002